

会社及び事業所名				
事業所所在地				
アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の立地場所の評価についてお答えください

①. 貴事業所が現在の場所へ立地された理由として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。また、その中でもっとも重要な番号ひとつに◎印をおつけください。

1. 必要・十分な広さだったから
2. 地代・賃料が妥当だったから
3. 行政等からの助成や優遇策が利用できたから
4. 顧客や得意先の事業所に近いから
5. 下請けや仕入先に近いから
6. 高速道路のインターチェンジに近いから
7. 幹線道路に近いから
8. 港湾、貨物駅、空港に近いから
9. 従業員やパートタイマーを確保しやすいから
10. 従業員やパートタイマーの通勤に便利だから
11. その他・具体的に記入 ()
12. わからない

②. 立地後に生じた問題点として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 業務拡大に伴い、用地、施設が手狭になった
2. 設備が老朽化し、効率が低下している
3. 土地・施設の利用コスト（地代、賃料）の負担が大きい
4. 周辺に住宅が増え、貨物車の出入りや住宅街の通り抜け等について住民から苦情が出ている
5. 周辺に他事業所の立地が増加し貨物車が増えたため、周辺道路の混雑が激しくなった
6. 周辺の道路が未整備のため、高速道路や幹線道路等へのアクセスが不便
7. 幹線道路までの区間で歩道が未整備のため、歩行者の通行に危険が生じている
8. その他・具体的に記入 ()
9. 特になし

③. 全体的に見て、現在の立地場所には満足しておられますか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | |

問2. 公共トラックターミナル、鉄道貨物駅、港湾、空港の利用についてお答えください

貨物の搬出入における拠点（公共トラックターミナル・鉄道貨物駅・港湾・空港）の利用の有無についてお答えください。利用している拠点があれば、その拠点を表1から番号を選んでご記入ください。また、利用上の問題点を表2から番号でお選びの上、問題の発生箇所をご記入ください。

1. 下表の利用拠点分類表にある拠点は利用していない → 問3へお進みください。

2. 利用している

利用している拠点 (表1の番号)	問題点 (表2の番号)	左記問題点の発生箇所（道路名や区間等）
例 2	4	中央環状線一津屋及び奈良付近
7	8	
//	4	大阪臨海線阪堺大橋及び三宝付近

(注) 利用拠点や利用上の問題点において、その他とお答えの場合は、問題箇所記入欄に具体的にご記入ください。

<表1 利用拠点分類表>

公共トラックターミナル	鉄道貨物駅	港 湾	空 港
1. 東大阪トラックターミナル（東大阪市） 2. 北大阪トラックターミナル（茨木市） 3. 大阪南港トラックターミナル（大阪市） 4. 阪神流通センタートラックターミナル（西宮市） 5. 神戸トラックターミナル（神戸市） 6. その他の公共トラックターミナル （ ）	7. 大阪貨物ターミナル駅 8. 梅田駅 9. 百済駅 10. 安治川口駅 11. 神戸貨物ターミナル駅 12. 姫路駅 13. 梅小路駅 14. その他の貨物駅 （ ）	15. 大阪港 16. 堺泉北港 17. 阪南港 18. 神戸港 19. 尼崎西宮芦屋港 20. 東播磨港 21. 姫路港 22. 和歌山下津港 23. 舞鶴港 24. その他の港湾 （ ）	25. 関西国際空港 26. 大阪国際空港 27. その他の空港 （ ）

<表2 拠点利用上の問題点>

1. 拠点へのアクセス道路が少ない 2. 拠点へのアクセス道路の幅員が狭い 3. 拠点へのアクセス道路に通行規制（高さ制限、重量制限等）がある 4. 拠点周辺道路が混雑している 5. 拠点周辺道路における貨物車の路上駐車が多い 6. 拠点内及び周辺に駐車場が少ない（収容台数が少ない） 7. その他・具体的に記入（ ） 8. 特に問題点はない
--

問3. 貨物車の高速道路の利用についてお答えください

①. 貴事業所における高速道路の利用・非利用については、どなたが判断されていますか。

1. 物流担当部署
2. ドライバー
3. 輸送委託先
4. その他・具体的に記入 ()
5. わからない

②. 貴事業所における高速道路の利用実態について、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 高速道路を利用可能な区間は、おおむね利用している
 2. どちらかと言えば高速道路を利用することが多い
 3. どちらかと言えば高速道路を利用しないことが多い
 4. 高速道路を利用可能な区間でも、ほとんど利用しない
 5. 高速道路を利用できる区間がない
- } P4の④へお進みください。
- } 引き続き、③にお進みください。
- ➡ P6の問4へお進みください。

③. (②で3. または4. を選択された方がお答えください)

高速道路を利用しない理由として、あてはまる番号に全て○印をおつけいただき、その中で最もあてはまる番号ひとつに◎をつけてください。

1. 利用しようとする高速道路区間が渋滞しているから
→利用したい区間 IC～ IC
2. 一般道路が空いており、高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
→時間短縮のメリットがないと感じる区間 IC～ IC
3. 高速道路の利用料金が安いから
→料金が安いと感じる区間 IC～ IC
4. 貴事業所で利用料金を負担する必要があるから
5. 90 km/h リミッター装着のため高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
6. その他・具体的に記入 ()

➡ P4の⑤へお進みください。

④. 貴事業所では、一日に平均で何台ぐらいの貨物車が高速道路を利用されますか。利用のない場合は「0 (台)」とご記入ください。

注) 大型車とは最大積載重量5トン以上の貨物車を示します。

1. 旧日本道路公団(10月1日より民営化)の高速道路 (例: 東名高速道路、名神高速道路、中国自動車道、東名阪自動車道 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)
2. 阪神高速道路
台/日 (うち、大型車 台/日)
3. 近畿圏内の他の有料道路 (例: 第二阪奈有料道路、西神戸有料道路 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)

⑤. 貴事業所の貨物車運行におけるETCの利用状況についてお答えください。

⑤-1. 貴事業所では、ETCを導入されていますか。

1. 全ての貨物車に導入している
2. 一部の貨物車に導入している (約 割の車両)
3. 導入していない

⑤-2. 以下に示すETC割引が実施されていることを知っていますか。

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1) 深夜割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2) 通勤割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3) 早朝夜間割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4) 大口多頻度割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 5) 阪神高速道路ETC社会実験 | 1. 知っている | 2. 知らない |

【参考: 割引の概要 (同封のETC割引に関する冊子をご覧ください)】

- ・ 深夜割引 0:00~4:00 の利用を3割引
- ・ 通勤割引 6:00~9:00、17:00~20:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 早朝夜間割引 22:00~6:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 大口多頻度割引 利用実績に応じて1~2割引
- ・ ETC社会実験 阪神高速道路でのETC利用により、平日は時間帯割引 (オフピーク割引)、休日は土曜・休日割引を実施

⑤-3. 上記で知らなかったETC割引について、今後の利用を検討されますか。

1. 検討する
利用を検討される番号にいくつでも○印をおつけください。
1. 深夜割引 2. 通勤割引 3. 早朝夜間割引 4. 大口多頻度割引
5. 阪神高速道路ETC社会実験
2. 検討しない
3. どちらともいえない
4. 全て知っていた

⑥. 以下は、E T C割引を実際に御利用されている場合のみお答えください。利用されていない場合は⑦にお進みください。

⑥-1. 貴事業所では、E T C割引の実施後、貨物車による輸送に変更が生じたか。あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 変更が生じていない ☐ ⑦にお進みください。

2. 変更が生じた ☐

あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 従来は一般道路利用のみであったが、高速道路を使うようになった

2. 従来も高速道路を利用していたが、利用区間を延長あるいは変更するようになった

3. 利用時間帯を割引時間帯へ変更した

4. その他・具体的に記入 ()

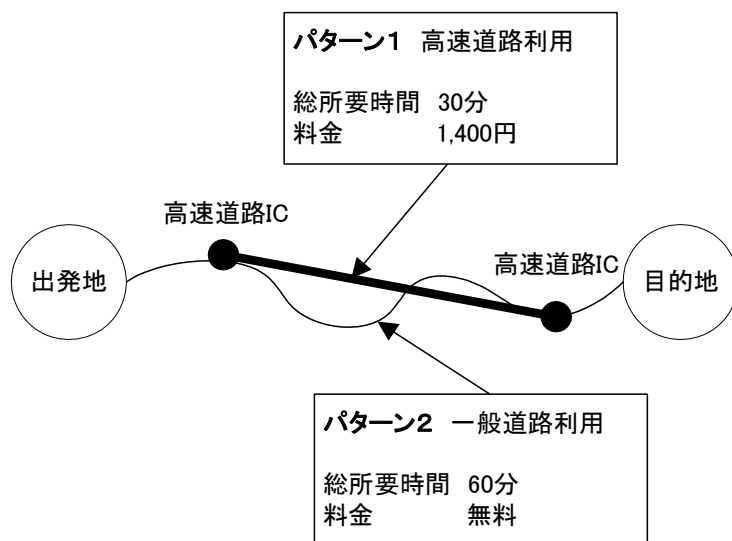
⑥-2 にお進みください。

⑥-2. E T C割引を利用した結果、輸送にかかる所要時間や出発時間、費用はどのように変わりましたか。貴社でE T C割引を最も多く利用する代表的な輸送ルートについてお答えください。注) 所要時間はE T C割引の区間のみについてではなく、出発地から目的地までの全行程についてお答えください。

1) 所要時間	E T C割引を利用前	時間 分
	利用後	時間 分
2) 出発時間	E T C割引を利用前	午前・午後 時 分
	利用後	午前・午後 時 分
3) 高速道路利用料金	E T C割引を利用前	円
	利用後	円

⑦. 高速道路の料金が割引された場合の利用意向をお答えください。

目的地までの貨物車輸送において、以下の2つの輸送パターンを想定して、質問にお答えください。



⑦-1. 高速道路の所要時間が 30 分（料金が 1,400 円）、一般道路の所要時間が 60 分の場合

1. 高速道路を利用する ☐

P 6 の問 4 にお進みください。

2. 高速道路を利用しない ☐

⑦-2 にお進みください。

⑦-2. 高速道路の利用料金が 1,400 円から 1,000 円に値下げされた場合

1. 高速道路を利用する ☐

2. 高速道路を利用しない ☐

問4. 貴事業所における今後の移転等の意向についてお答えください

①. 貴事業所の物流効率化向上のために必要となる物流施設面の対応として、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の事業所に加えて、新しい施設を新設・賃借する
2. 現在の事業所を廃止して、新設の施設へ移転・統合する
3. 現在の事業所を廃止して、既存の大型施設等へ統合する
4. 現在の事業所から場所や数はずえに、その機能を高度化する
5. 物流施設面では特に対策はとらない

➡ 対策をとらない理由としてあてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の施設の数と機能で十分満足しているから
2. 施設不足が生じた場合は、アウトソーシング（外部への委託）で対応するから
3. その他・具体的に記入（ ）

②. 以下の設問は、貴事業所が「物流施設を新設・移転する場合」を想定してお答えください

(1) 新しい施設に必要とする機能について、表1の施設機能分類表からあてはまる番号にいくつでも○印をおつけの上、新設する施設数をご記入ください。

注1) 新しい施設の確保について、表2の確保方法分類表から1～9の番号でご記入ください。

注2) 新しい施設に求める条件について、次頁の表3の条件分類表から1～9の番号を3つまでご記入のうえ、条件 へ番号に対応する条件をご記入ください。

新設・移転する施設に求める機能 (表1の番号)	新設・移転 する施設数	確保方法 (表2の番号)	新設・移転する施設に求める条件	
			条件番号 (表3の番号)	条件
1・2・3・4・5・6・7・8	1カ所	1	5 1 7	→ 条件 5,000 → 条件 10 → 条件 50,000
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件

＜表1 施設機能分類表＞

1. 製造機能	2. 販売機能	3. 営業・事務機能	4. 保管機能
5. 積み替え機能	6. 荷さばき機能	7. 流通加工機能	
8. その他・具体的に記入（ ）			

＜表2 確保方法分類表＞

1. 公共の用地を取得し、施設を建設する	2. 民間の用地を取得し、施設を建設する
3. 公共の用地を賃借し、施設を建設する	4. 民間の用地を賃借し、施設を建設する
5. 既存の公共施設を買収する	6. 既存の民間施設を買収する
7. 既存の公共施設を賃借する	8. 既存の民間施設を賃借する
9. その他・具体的に記入（ ）	

＜表 3 条件分類表＞

1. 高速道路へのアクセスが便利なこと	条件：高速道路 IC まで自動車で（ ）分以内の場所
2. 港湾へのアクセスが便利なこと	条件：コンテナ港まで自動車で（ ）分以内の場所
3. 空港へのアクセスが便利なこと	条件：空港まで自動車で（ ）分以内の場所
4. 市場、消費地、取引先等へのアクセスが便利なこと	条件：（具体的に： ）まで自動車で（ ）分以内の場所
5. 十分な敷地の広さが確保できること	条件：敷地面積が（ ）m ² 以上必要
6. 施設・用地の分譲価格が妥当であること	条件：用地の 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
7. 施設・用地の賃借費が妥当であること	条件：延べ床 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
8. パート・アルバイト等の人員を確保しやすいこと	
9. その他・具体的に記入（ ）	

(2) 新しい施設の望ましい立地場所を近畿 2 府 4 県内の市区町村単位で 2 つまでご記入ください。

1		府 県		市 郡		区 町村
2		府 県		市 郡		区 町村

問 5. 貴事業所における複合物流施設の利用意向についてお答えください

近畿 2 府 4 県内の臨海部や高速道路沿線に、配送・荷さばき・保管などの機能を備えた複合物流施設（ロジスティックセンター）が整備された場合の、利用意向をお答えください。

1. ぜひ利用したい

2. 利用を検討する

3. 利用する考えはない

＜利用しない理由＞

1. 現在の施設で十分であり、新たな施設は必要でないから

2. 近畿 2 府 4 県内に自社にとって望ましい場所がないから

3. 自社以外が整備する施設では、自社の物流特性を満たせないから

4. その他・具体的に記入

（ ）

＜必要とする施設規模＞

・建物延床面積 () m²

・貨物車駐車容量 () 台分

＜望ましい立地場所＞

1. 高速道路沿線・IC 周辺

2. 臨海部

3. その他・具体的に（ ）

1. 大阪港南港地区

2. 堺泉北港地区

3. 阪神間（尼崎西宮芦屋港）地区

4. 神戸港六甲アイランド地区

5. 神戸港ポートアイランド地区

6. その他・具体的に記入

（ ）

1. 名神高速道路	IC 名	
2. 中国自動車道	IC 名	
3. 山陽自動車道	IC 名	
4. 第二名神高速道路	仮 IC 名	
5. 京奈和自動車道	IC 名	
6. その他・具体的に記入		
（ ）		

注）IC 名等がわからない場合には、区間名・市町村名をご記入ください

問6. 貴事業所における物流効率化のための取り組みについてお答えください

貴事業所における輸配送面での物流効率化のための取り組みについて、下記にあげた対策の現況と今後（およそ5年先）の実施予定と実施内容をご記入ください。

注）運輸業（道路貨物運送業や倉庫業）の方は、1）、2）、4）項目へのご記入は不要です。

対策		現況	1. 全 部 実 施 す る	2. 実 施 し な い	3. わ か ら な い	4. 実 施 す る	実施する場合の目標値
輸 配 送 方 式 の 取 り 組 み	1) 工場から配送拠点等への直送比率を増やす	直送比率 %	1	2	3	4	直送比率 %へ増やす
	2) 多頻度少量配送を減らし、定時の中大口配送を増やす	多頻度少量配送比率 %	1	2	3	4	多頻度少量配送比率 %へ減らす
	3) 共同配送を導入する、共同配送利用量を増やす	共同配送利用率 %	1	2	3	4	共同配送利用率 %へ増やす
	4) 自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切りかえを進める	自家用貨物車利用率 %	1	2	3	4	自家用貨物車利用率 %へ減らす
	5) 高速道路の利用率を増やす（減らす）	高速道路利用貨物量割合 %	1	2	3	4	高速道路利用貨物量割合 %へ変える
	6) 貨物車利用から鉄道利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	鉄道利用貨物量割合 %	1	2	3	4	鉄道利用貨物量割合 %へ増やす
	7) 貨物車利用から船舶利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	船舶利用貨物量割合 %	1	2	3	4	船舶利用貨物量割合 %へ増やす
そ の 他 の 取 り 組 み	8) 低公害車の利用を増やす	低公害車台数割合 %	1	2	3	4	低公害車台数割合 %へ増やす
	9) ETCの装着率を高める	ETC装着車台数割合 %	1	2	3	4	ETC装着車台数割合 %へ増やす
	10) DPF（ディーゼル微粒子除去装置）の装着率を高める	DPF装着車台数割合 %	1	2	3	4	DPF装着車台数割合 %へ増やす
	11) 上記以外で実施を計画しておられる対策がありましたらその内容を具体的にご記入ください						

問7. 貴事業所における物流業務の効率化のために必要となる行政施策についてお答えください

①. 近畿2府4県内の道路について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 第二名神高速道路、京奈和自動車道、阪神高速道路湾岸線（六甲アイランド～垂水間）等の高速道路ネットワークの整備
 ↳ 整備を優先する道路・区間
 主な理由
2. 高速道路のインターチェンジ（IC）へアクセスする一般道路の整備
 ↳ アクセス道路整備を必要とするIC
 主な理由
3. 港湾や貨物駅へアクセスする一般道路の整備
 ↳ アクセス道路整備を必要とする港湾・貨物駅
 主な理由
4. 道路のボトルネック（重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所）の解消
 ↳ 渋滞解消を必要とするボトルネック地点 ボトルネックになっている理由

➡
5. 規制緩和の促進（大型車や海上コンテナ輸送車両に対する通行規制の緩和など）
 ↳ 必要とする規制緩和の内容
6. 大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ
7. その他・具体的にご記入ください
8. 特になし

②. 物流施設用地について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 公共による新たな用地整備と妥当なコストでの提供
 ↳ 用地整備を必要とする地区
2. 整備済みの工業団地等への移転促進のための優遇・助成方策の導入
 ↳ 優遇・助成方策を必要とする地区
3. 貨物車用の公共駐車場の整備・充実
 ↳ 整備を必要とする地区
4. 貨物車用の休憩施設（トラックステーション等）の整備
 ↳ 整備を必要とする地区
5. その他・具体的にご記入ください
6. 特になし

③. 物流に関連した社会的な問題（渋滞、環境問題等）について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導

2. 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備

→ 整備を必要とする地区

3. 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷さばき施設等の整備

→ 整備を必要とする地区

4. 鉄道や船舶の利用のしやすさ向上のための貨物駅や港湾の整備

→ 整備を必要とする貨物駅・港湾

5. 貨物車から鉄道や船舶への輸送手段転換（モーダルシフト）の促進

（シフト貨物量や長距離フェリー利用トラック台数当たりにより一定の助成金を交付、など）

6. NO_x・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実

7. 共同配送など物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入

8. その他・具体的に記入（

9. 特になし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。

秘

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 物流に関する意向アンケート

国土交通省近畿地方整備局 滋賀県
京都府 大阪府 兵庫県 奈良県
和歌山県 京都市 大阪市 神戸市
西日本高速道路（株）関西支社
阪神高速道路（株） 都市再生機構

記入についてのお願い

- このアンケート調査は、将来の物の輸送等に関する総合的な交通計画を立案するための基礎資料とさせていただくものです。御協力をよろしくお願いします。
 - 各質問項目は、本アンケートが届いた貴事業所に関する内容に限定してお答えください。他の事業所（貴事業所の他の支店、他の営業所等）の内容は含めないでください。
 - 同封の返送用封筒にて 12月2日(金)までにポストにご投函ください。
- ・ ご記入しにくい質問などございましたら、貴事業所の関連部署や委託先等にご確認いただき、ご記入ください。
 - ・ 回答は、 の部分（色のついたところ）にご記入ください。記入は黒の鉛筆またはボールペンをお願いします。
 - ・ なお、ご記入いただいた内容をそのまま公表したり、本調査の目的以外に使用することはありません。

<問い合わせ先>

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 調査実施本部

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

フリーダイヤル 〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

（午前9：00～午後6：00　、土曜・日曜・祝祭日を除く）

会社及び事業所名				
事業所所在地				
アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の立地場所の評価についてお答えください

①. 貴事業所が現在の場所へ立地された理由として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。また、その中でもっとも重要な番号ひとつに◎印をおつけください。

1. 必要・十分な広さだったから
2. 地代・賃料が妥当だったから
3. 行政等からの助成や優遇策が利用できたから
4. 顧客や得意先の事業所に近いから
5. 下請けや仕入先に近いから
6. 高速道路のインターチェンジに近いから
7. 幹線道路に近いから
8. 港湾、貨物駅、空港に近いから
9. 従業員やパートタイマーを確保しやすいから
10. 従業員やパートタイマーの通勤に便利だから
11. その他・具体的に記入 ()
12. わからない

②. 立地後に生じた問題点として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 業務拡大に伴い、用地、施設が手狭になった
2. 設備が老朽化し、効率が低下している
3. 土地・施設の利用コスト（地代、賃料）の負担が大きい
4. 周辺に住宅が増え、貨物車の出入りや住宅街の通り抜け等について住民から苦情が出ている
5. 周辺に他事業所の立地が増加し貨物車が増えたため、周辺道路の混雑が激しくなった
6. 周辺の道路が未整備のため、高速道路や幹線道路等へのアクセスが不便
7. 幹線道路までの区間で歩道が未整備のため、歩行者の通行に危険が生じている
8. その他・具体的に記入 ()
9. 特になし

③. 全体的に見て、現在の立地場所には満足しておられますか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | |

問2. 公共トラックターミナル、鉄道貨物駅、港湾、空港の利用についてお答えください

貨物の搬出入における拠点（公共トラックターミナル・鉄道貨物駅・港湾・空港）の利用の有無についてお答えください。利用している拠点があれば、その拠点を表1から番号を選んでご記入ください。また、利用上の問題点を表2から番号でお選びの上、問題の発生箇所をご記入ください。

1. 下表の利用拠点分類表にある拠点は利用していない
2. 利用している

利用している拠点 (表1の番号)		問題点 (表2の番号)	左記問題点の発生箇所(道路名や区間等)
例	2	4	中央環状線ー津屋及び奈良付近
	7	8	
	//	4	大阪臨海線阪堺大橋及び三宝付近

(注) 利用拠点や利用上の問題点において、その他とお答えの場合は、問題箇所記入欄に具体的にご記入ください。

＜表1 利用拠点分類表＞

公共トラックターミナル	鉄道貨物駅	港 湾	空 港
1. 東大阪トラックターミナル（東大阪市） 2. 北大阪トラックターミナル（茨木市） 3. 大阪南港トラックターミナル（大阪市） 4. 阪神流通センタートラックターミナル（西宮市） 5. 神戸トラックターミナル（神戸市） 6. その他の公共トラックターミナル（ ）	7. 大阪貨物ターミナル駅 8. 梅田駅 9. 百済駅 10. 安治川口駅 11. 神戸貨物ターミナル駅 12. 姫路駅 13. 梅小路駅 14. その他の貨物駅（ ）	15. 大阪港 16. 堺泉北港 17. 阪南港 18. 神戸港 19. 尼崎西宮芦屋港 20. 東播磨港 21. 姫路港 22. 和歌山下津港 23. 舞鶴港 24. その他の港湾（ ）	25. 関西国際空港 26. 大阪国際空港 27. その他の空港（ ）

＜表2 拠点利用上の問題点＞

1. 拠点へのアクセス道路が少ない 2. 拠点へのアクセス道路の幅員が狭い 3. 拠点へのアクセス道路に通行規制（高さ制限、重量制限等）がある 4. 拠点周辺道路が混雑している 5. 拠点周辺道路における貨物車の路上駐車が多い 6. 拠点内及び周辺に駐車場が少ない（収容台数が少ない） 7. その他・具体的に記入（ ） 8. 特に問題点はない
--

問3. 貨物車の高速道路の利用についてお答えください

①. 貴事業所における高速道路の利用・非利用については、どなたが判断されていますか。

1. 物流担当部署
2. ドライバー
3. 輸送委託先
4. その他・具体的に記入 ()
5. わからない

②. 貴事業所における高速道路の利用実態について、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 高速道路を利用可能な区間は、おおむね利用している
 2. どちらかと言えば高速道路を利用することが多い
 3. どちらかと言えば高速道路を利用しないことが多い
 4. 高速道路を利用可能な区間でも、ほとんど利用しない
 5. 高速道路を利用できる区間がない
- } P4の④へお進みください。
- } 引き続き、③にお進みください。
- ➡ P6の問4へお進みください。

③. (②で3. または4. を選択された方がお答えください)

高速道路を利用しない理由として、あてはまる番号に全て○印をおつけいただき、その中で最もあてはまる番号ひとつに◎をつけてください。

1. 利用しようとする高速道路区間が渋滞しているから
→利用したい区間 IC～ IC
2. 一般道路が空いており、高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
→時間短縮のメリットがないと感じる区間 IC～ IC
3. 高速道路の利用料金が安いから
→料金が安いと感じる区間 IC～ IC
4. 貴事業所で利用料金を負担する必要があるから
5. 90 km/h リミッター装着のため高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
6. その他・具体的に記入 ()

➡ P4の⑤へお進みください。

④. 貴事業所では、一日に平均で何台ぐらいの貨物車が高速道路を利用されますか。利用のない場合は「0 (台)」とご記入ください。

注) 大型車とは最大積載重量5トン以上の貨物車を示します。

1. 旧日本道路公団(10月1日より民営化)の高速道路 (例: 東名高速道路、名神高速道路、中国自動車道、東名阪自動車道 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)
2. 阪神高速道路
台/日 (うち、大型車 台/日)
3. 近畿圏内の他の有料道路 (例: 第二阪奈有料道路、西神戸有料道路 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)

⑤. 貴事業所の貨物車運行におけるETCの利用状況についてお答えください。

⑤-1. 貴事業所では、ETCを導入されていますか。

1. 全ての貨物車に導入している
2. 一部の貨物車に導入している (約 割の車両)
3. 導入していない

⑤-2. 以下に示すETC割引が実施されていることを知っていますか。

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1) 深夜割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2) 通勤割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3) 早朝夜間割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4) 大口多頻度割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 5) 阪神高速道路ETC社会実験 | 1. 知っている | 2. 知らない |

【参考: 割引の概要 (同封のETC割引に関する冊子をご覧ください)】

- ・ 深夜割引 0:00~4:00 の利用を3割引
- ・ 通勤割引 6:00~9:00、17:00~20:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 早朝夜間割引 22:00~6:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 大口多頻度割引 利用実績に応じて1~2割引
- ・ ETC社会実験 阪神高速道路でのETC利用により、平日は時間帯割引 (オフピーク割引)、休日は土曜・休日割引を実施

⑤-3. 上記で知らなかったETC割引について、今後の利用を検討されますか。

1. 検討する
利用を検討される番号にいくつでも○印をおつけください。
1. 深夜割引 2. 通勤割引 3. 早朝夜間割引 4. 大口多頻度割引
5. 阪神高速道路ETC社会実験
2. 検討しない
3. どちらともいえない
4. 全て知っていた

⑥. 以下は、E T C割引を実際に御利用されている場合のみお答えください。利用されていない場合は⑦にお進みください。

⑥-1. 貴事業所では、E T C割引の実施後、貨物車による輸送に変更が生じましたか。あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 変更が生じていない ☐ ⑦にお進みください。

2. 変更が生じた ☐

あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 従来は一般道路利用のみであったが、高速道路を使うようになった

2. 従来も高速道路を利用していたが、利用区間を延長あるいは変更するようになった

3. 利用時間帯を割引時間帯へ変更した

4. その他・具体的に記入 ()

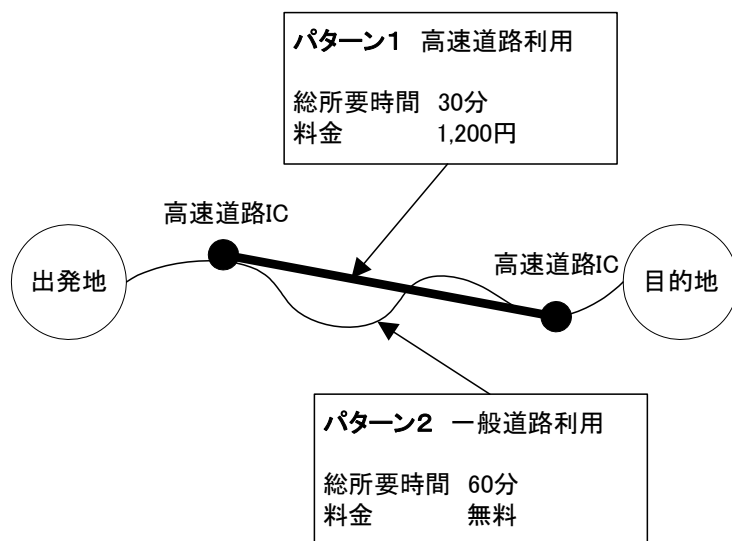
☐ ⑥-2にお進みください。

⑥-2. E T C割引を利用した結果、輸送にかかる所要時間や出発時間、費用はどのように変わりましたか。貴社でE T C割引を最も多く利用する代表的な輸送ルートについてお答えください。注) 所要時間はE T C割引の区間のみについてではなく、出発地から目的地までの全行程についてお答えください。

1) 所要時間	E T C割引を利用前	時間 分
	利用後	時間 分
2) 出発時間	E T C割引を利用前	午前・午後 時 分
	利用後	午前・午後 時 分
3) 高速道路利用料金	E T C割引を利用前	円
	利用後	円

⑦. 高速道路の料金が割引された場合の利用意向をお答えください。

目的地までの貨物車輸送において、以下の2つの輸送パターンを想定して、質問にお答えください。



⑦-1. 高速道路の所要時間が30分(料金が1,200円)、一般道路の所要時間が60分の場合

1. 高速道路を利用する ☐

☐ P6の問4にお進みください。

2. 高速道路を利用しない ☐

☐ ⑦-2にお進みください。

⑦-2. 高速道路の利用料金が1,200円から700円に値下げされた場合

1. 高速道路を利用する ☐

2. 高速道路を利用しない ☐

問4. 貴事業所における今後の移転等の意向についてお答えください

①. 貴事業所の物流効率化向上のために必要となる物流施設面の対応として、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の事業所に加えて、新しい施設を新設・賃借する
2. 現在の事業所を廃止して、新設の施設へ移転・統合する
3. 現在の事業所を廃止して、既存の大型施設等へ統合する
4. 現在の事業所から場所や数を変えずに、その機能を高度化する
5. 物流施設面では特に対策はとらない

➡ 対策をとらない理由としてあてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の施設の数と機能で十分満足しているから
2. 施設不足が生じた場合は、アウトソーシング（外部への委託）で対応するから
3. その他・具体的に記入（ ）

②. 以下の設問は、貴事業所が「物流施設を新設・移転する場合」を想定してお答えください

(1) 新しい施設に必要とする機能について、表1の施設機能分類表からあてはまる番号にいくつでも○印をおつけの上、新設する施設数をご記入ください。

注1) 新しい施設の確保について、表2の確保方法分類表から1～9の番号でご記入ください。

注2) 新しい施設に求める条件について、次頁の表3の条件分類表から1～9の番号を3つまでご記入のうえ、条件 へ番号に対応する条件をご記入ください。

新設・移転する施設に求める機能 (表1の番号)	新設・移転 する施設数	確保方法 (表2の番号)	新設・移転する施設に求める条件	
			条件番号 (表3の番号)	条件
1・2・3・4・5・6・7・8	1カ所	1	5 1 7	→ 条件 5,000 → 条件 10 → 条件 50,000
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件

＜表1 施設機能分類表＞

1. 製造機能	2. 販売機能	3. 営業・事務機能	4. 保管機能
5. 積み替え機能	6. 荷さばき機能	7. 流通加工機能	
8. その他・具体的に記入（ ）			

＜表2 確保方法分類表＞

1. 公共の用地を取得し、施設を建設する	2. 民間の用地を取得し、施設を建設する
3. 公共の用地を賃借し、施設を建設する	4. 民間の用地を賃借し、施設を建設する
5. 既存の公共施設を買収する	6. 既存の民間施設を買収する
7. 既存の公共施設を賃借する	8. 既存の民間施設を賃借する
9. その他・具体的に記入（ ）	

＜表 3 条件分類表＞

1. 高速道路へのアクセスが便利なこと	条件：高速道路 IC まで自動車で（ ）分以内の場所
2. 港湾へのアクセスが便利なこと	条件：コンテナ港まで自動車で（ ）分以内の場所
3. 空港へのアクセスが便利なこと	条件：空港まで自動車で（ ）分以内の場所
4. 市場、消費地、取引先等へのアクセスが便利なこと	条件：（具体的に： ）まで自動車で（ ）分以内の場所
5. 十分な敷地の広さが確保できること	条件：敷地面積が（ ）m ² 以上必要
6. 施設・用地の分譲価格が妥当であること	条件：用地の 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
7. 施設・用地の賃借費が妥当であること	条件：延べ床 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
8. パート・アルバイト等の人員を確保しやすいこと	
9. その他・具体的に記入（ ）	

(2) 新しい施設の望ましい立地場所を近畿 2 府 4 県内の市区町村単位で 2 つまでご記入ください。

1		府 県		市 郡		区 町村
2		府 県		市 郡		区 町村

問 5. 貴事業所における複合物流施設の利用意向についてお答えください

近畿 2 府 4 県内の臨海部や高速道路沿線に、配送・荷さばき・保管などの機能を備えた複合物流施設（ロジスティックセンター）が整備された場合の、利用意向をお答えください。

1. ぜひ利用したい

2. 利用を検討する

3. 利用する考えはない

＜利用しない理由＞

1. 現在の施設で十分であり、新たな施設は必要でないから

2. 近畿 2 府 4 県内に自社にとって望ましい場所がないから

3. 自社以外が整備する施設では、自社の物流特性を満たせないから

4. その他・具体的に記入

（ ）

＜必要とする施設規模＞

・建物延床面積 () m²

・貨物車駐車容量 () 台分

＜望ましい立地場所＞

1. 高速道路沿線・IC 周辺

2. 臨海部

3. その他・具体的に（ ）

1. 大阪港南港地区

2. 堺泉北港地区

3. 阪神間（尼崎西宮芦屋港）地区

4. 神戸港六甲アイランド地区

5. 神戸港ポートアイランド地区

6. その他・具体的に記入

（ ）

1. 名神高速道路	IC 名	
2. 中国自動車道	IC 名	
3. 山陽自動車道	IC 名	
4. 第二名神高速道路	仮 IC 名	
5. 京奈和自動車道	IC 名	
6. その他・具体的に記入		
（ ）		

注）IC 名等がわからない場合には、区間名・市町村名をご記入ください

問6. 貴事業所における物流効率化のための取り組みについてお答えください

貴事業所における輸配送面での物流効率化のための取り組みについて、下記にあげた対策の現況と今後（およそ5年先）の実施予定と実施内容をご記入ください。

注）運輸業（道路貨物運送業や倉庫業）の方は、1）、2）、4）項目へのご記入は不要です。

対策		現況	1. 全 部 実 施 す る	2. 実 施 し な い	3. わ か ら な い	4. 実 施 す る	実施する場合の目標値
輸 配 送 方 式 の 取 り 組 み	1) 工場から配送拠点等への直送比率を増やす	直送比率 %	1	2	3	4	直送比率 %へ増やす
	2) 多頻度少量配送を減らし、定時の中大口配送を増やす	多頻度少量配送比率 %	1	2	3	4	多頻度少量配送比率 %へ減らす
	3) 共同配送を導入する、共同配送利用量を増やす	共同配送利用率 %	1	2	3	4	共同配送利用率 %へ増やす
	4) 自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切りかえを進める	自家用貨物車利用率 %	1	2	3	4	自家用貨物車利用率 %へ減らす
	5) 高速道路の利用率を増やす（減らす）	高速道路利用貨物量割合 %	1	2	3	4	高速道路利用貨物量割合 %へ変える
	6) 貨物車利用から鉄道利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	鉄道利用貨物量割合 %	1	2	3	4	鉄道利用貨物量割合 %へ増やす
	7) 貨物車利用から船舶利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	船舶利用貨物量割合 %	1	2	3	4	船舶利用貨物量割合 %へ増やす
そ の 他 の 取 り 組 み	8) 低公害車の利用を増やす	低公害車台数割合 %	1	2	3	4	低公害車台数割合 %へ増やす
	9) ETCの装着率を高める	ETC装着車台数割合 %	1	2	3	4	ETC装着車台数割合 %へ増やす
	10) DPF（ディーゼル微粒子除去装置）の装着率を高める	DPF装着車台数割合 %	1	2	3	4	DPF装着車台数割合 %へ増やす
	11) 上記以外で実施を計画しておられる対策がありましたらその内容を具体的にご記入ください						

問7. 貴事業所における物流業務の効率化のために必要となる行政施策についてお答えください

①. 近畿2府4県内の道路について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 第二名神高速道路、京奈和自動車道、阪神高速道路湾岸線（六甲アイランド～垂水間）等の高速道路ネットワークの整備
 - ↳ 整備を優先する道路・区間
 - 主な理由
2. 高速道路のインターチェンジ（IC）へアクセスする一般道路の整備
 - ↳ アクセス道路整備を必要とするIC
 - 主な理由
3. 港湾や貨物駅へアクセスする一般道路の整備
 - ↳ アクセス道路整備を必要とする港湾・貨物駅
 - 主な理由
4. 道路のボトルネック（重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所）の解消

↳ 渋滞解消を必要とするボトルネック地点	→	ボトルネックになっている理由
	→	
5. 規制緩和の促進（大型車や海上コンテナ輸送車両に対する通行規制の緩和など）
 - ↳ 必要とする規制緩和の内容
6. 大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ
7. その他・具体的にご記入ください
8. 特になし

②. 物流施設用地について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 公共による新たな用地整備と妥当なコストでの提供
 - ↳ 用地整備を必要とする地区
2. 整備済みの工業団地等への移転促進のための優遇・助成方策の導入
 - ↳ 優遇・助成方策を必要とする地区
3. 貨物車用の公共駐車場の整備・充実
 - ↳ 整備を必要とする地区
4. 貨物車用の休憩施設（トラックステーション等）の整備
 - ↳ 整備を必要とする地区
5. その他・具体的にご記入ください
6. 特になし

③. 物流に関連した社会的な問題（渋滞、環境問題等）について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導

2. 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備

→ 整備を必要とする地区

3. 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷さばき施設等の整備

→ 整備を必要とする地区

4. 鉄道や船舶の利用のしやすさ向上のための貨物駅や港湾の整備

→ 整備を必要とする貨物駅・港湾

5. 貨物車から鉄道や船舶への輸送手段転換（モーダルシフト）の促進

（シフト貨物量や長距離フェリー利用トラック台数当たり一定の助成金を交付、など）

6. NO_x・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実

7. 共同配送など物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入

8. その他・具体的に記入（

9. 特になし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。

秘

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 物流に関する意向アンケート

国土交通省近畿地方整備局 滋賀県
京都府 大阪府 兵庫県 奈良県
和歌山県 京都市 大阪市 神戸市
西日本高速道路（株）関西支社
阪神高速道路（株） 都市再生機構

記入についてのお願い

- このアンケート調査は、将来の物の輸送等に関する総合的な交通計画を立案するための基礎資料とさせていただくものです。御協力をよろしくお願いします。
 - 各質問項目は、本アンケートが届いた貴事業所に関する内容に限定してお答えください。他の事業所（貴事業所の他の支店、他の営業所等）の内容は含めないでください。
 - 同封の返送用封筒にて 12月2日(金)までにポストにご投函ください。
- ・ ご記入しにくい質問などございましたら、貴事業所の関連部署や委託先等にご確認いただき、ご記入ください。
 - ・ 回答は、 の部分（色のついたところ）にご記入ください。記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
 - ・ なお、ご記入いただいた内容をそのまま公表したり、本調査の目的以外に使用することはありません。

<問い合わせ先>

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 調査実施本部

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

フリーダイヤル 〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

（午前9：00～午後6：00 、土曜・日曜・祝祭日を除く）

会社及び事業所名				
事業所所在地				
アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の立地場所の評価についてお答えください

①. 貴事業所が現在の場所へ立地された理由として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。また、その中でもっとも重要な番号ひとつに◎印をおつけください。

1. 必要・十分な広さだったから
2. 地代・賃料が妥当だったから
3. 行政等からの助成や優遇策が利用できたから
4. 顧客や得意先の事業所に近いから
5. 下請けや仕入先に近いから
6. 高速道路のインターチェンジに近いから
7. 幹線道路に近いから
8. 港湾、貨物駅、空港に近いから
9. 従業員やパートタイマーを確保しやすいから
10. 従業員やパートタイマーの通勤に便利だから
11. その他・具体的に記入 ()
12. わからない

②. 立地後に生じた問題点として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 業務拡大に伴い、用地、施設が手狭になった
2. 設備が老朽化し、効率が低下している
3. 土地・施設の利用コスト（地代、賃料）の負担が大きい
4. 周辺に住宅が増え、貨物車の出入りや住宅街の通り抜け等について住民から苦情が出ている
5. 周辺に他事業所の立地が増加し貨物車が増えたため、周辺道路の混雑が激しくなった
6. 周辺の道路が未整備のため、高速道路や幹線道路等へのアクセスが不便
7. 幹線道路までの区間で歩道が未整備のため、歩行者の通行に危険が生じている
8. その他・具体的に記入 ()
9. 特になし

③. 全体的に見て、現在の立地場所には満足しておられますか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | |

問2. 公共トラックターミナル、鉄道貨物駅、港湾、空港の利用についてお答えください

貨物の搬出入における拠点（公共トラックターミナル・鉄道貨物駅・港湾・空港）の利用の有無についてお答えください。利用している拠点があれば、その拠点を表1から番号を選んでご記入ください。また、利用上の問題点を表2から番号でお選びの上、問題の発生箇所をご記入ください。

1. 下表の利用拠点分類表にある拠点は利用していない  問3へお進みください。

2. 利用している 

利用している拠点 (表1の番号)	問題点 (表2の番号)	左記問題点の発生箇所(道路名や区間等)
例 2	4	中央環状線一津屋及び奈良付近
7	8	
//	4	大阪臨海線阪堺大橋及び三宝付近

(注) 利用拠点や利用上の問題点において、その他とお答えの場合は、問題箇所記入欄に具体的にご記入ください。

<表1 利用拠点分類表>

公共トラックターミナル	鉄道貨物駅	港 湾	空 港
1. 東大阪トラックターミナル(東大阪市)	7. 大阪貨物ターミナル駅	15. 大阪港	25. 関西国際空港
2. 北大阪トラックターミナル(茨木市)	8. 梅田駅	16. 堺泉北港	26. 大阪国際空港
3. 大阪南港トラックターミナル(大阪市)	9. 百済駅	17. 阪南港	27. その他の空港
4. 阪神流通センタートラックターミナル(西宮市)	10. 安治川口駅	18. 神戸港	()
5. 神戸トラックターミナル(神戸市)	11. 神戸貨物ターミナル駅	19. 尼崎西宮芦屋港	
6. その他の公共トラックターミナル ()	12. 姫路駅	20. 東播磨港	
	13. 梅小路駅	21. 姫路港	
	14. その他の貨物駅 ()	22. 和歌山下津港	
		23. 舞鶴港	
		24. その他の港湾 ()	

<表2 拠点利用上の問題点>

1. 拠点へのアクセス道路が少ない
2. 拠点へのアクセス道路の幅員が狭い
3. 拠点へのアクセス道路に通行規制(高さ制限、重量制限等)がある
4. 拠点周辺道路が混雑している
5. 拠点周辺道路における貨物車の路上駐車が多い
6. 拠点内及び周辺に駐車場が少ない(収容台数が少ない)
7. その他・具体的に記入()
8. 特に問題点はない

問3. 貨物車の高速道路の利用についてお答えください

①. 貴事業所における高速道路の利用・非利用については、どなたが判断されていますか。

1. 物流担当部署
2. ドライバー
3. 輸送委託先
4. その他・具体的に記入 ()
5. わからない

②. 貴事業所における高速道路の利用実態について、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 高速道路を利用可能な区間は、おおむね利用している
 2. どちらかと言えば高速道路を利用することが多い
 3. どちらかと言えば高速道路を利用しないことが多い
 4. 高速道路を利用可能な区間でも、ほとんど利用しない
 5. 高速道路を利用できる区間がない
- } P4の④へお進みください。
- } 引き続き、③にお進みください。
- P6の問4へお進みください。

③. (②で3. または4. を選択された方がお答えください)

高速道路を利用しない理由として、あてはまる番号に全て○印をおつけいただき、その中で最もあてはまる番号ひとつに◎をつけてください。

1. 利用しようとする高速道路区間が渋滞しているから
→利用したい区間 IC～ IC
2. 一般道路が空いており、高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
→時間短縮のメリットがないと感じる区間 IC～ IC
3. 高速道路の利用料金が安いから
→料金が安いと感じる区間 IC～ IC
4. 貴事業所で利用料金を負担する必要があるから
5. 90 km/h リミッター装着のため高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
6. その他・具体的に記入 ()

→ P4の⑤へお進みください。

④. 貴事業所では、一日に平均で何台ぐらいの貨物車が高速道路を利用されますか。利用のない場合は「0 (台)」とご記入ください。

注) 大型車とは最大積載重量5トン以上の貨物車を示します。

1. 旧日本道路公団(10月1日より民営化)の高速道路 (例: 東名高速道路、名神高速道路、中国自動車道、東名阪自動車道 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)
2. 阪神高速道路
台/日 (うち、大型車 台/日)
3. 近畿圏内の他の有料道路 (例: 第二阪奈有料道路、西神戸有料道路 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)

⑤. 貴事業所の貨物車運行におけるETCの利用状況についてお答えください。

⑤-1. 貴事業所では、ETCを導入されていますか。

1. 全ての貨物車に導入している
2. 一部の貨物車に導入している (約 割の車両)
3. 導入していない

⑤-2. 以下に示すETC割引が実施されていることを知っていますか。

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1) 深夜割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2) 通勤割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3) 早朝夜間割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4) 大口多頻度割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 5) 阪神高速道路ETC社会実験 | 1. 知っている | 2. 知らない |

【参考: 割引の概要 (同封のETC割引に関する冊子をご覧ください)】

- ・ 深夜割引 0:00~4:00 の利用を3割引
- ・ 通勤割引 6:00~9:00、17:00~20:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 早朝夜間割引 22:00~6:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 大口多頻度割引 利用実績に応じて1~2割引
- ・ ETC社会実験 阪神高速道路でのETC利用により、平日は時間帯割引 (オフピーク割引)、休日は土曜・休日割引を実施

⑤-3. 上記で知らなかったETC割引について、今後の利用を検討されますか。

1. 検討する
利用を検討される番号にいくつでも○印をおつけください。
1. 深夜割引 2. 通勤割引 3. 早朝夜間割引 4. 大口多頻度割引
5. 阪神高速道路ETC社会実験
2. 検討しない
3. どちらともいえない
4. 全て知っていた

⑥. 以下は、E T C割引を実際に御利用されている場合のみお答えください。利用されていない場合は⑦にお進みください。

⑥-1. 貴事業所では、E T C割引の実施後、貨物車による輸送に変更が生じましたか。あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 変更が生じていない ☐ ⑦にお進みください。

2. 変更が生じた

あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 従来は一般道路利用のみであったが、高速道路を使うようになった

2. 従来も高速道路を利用していたが、利用区間を延長あるいは変更するようになった

3. 利用時間帯を割引時間帯へ変更した

4. その他・具体的に記入 ()

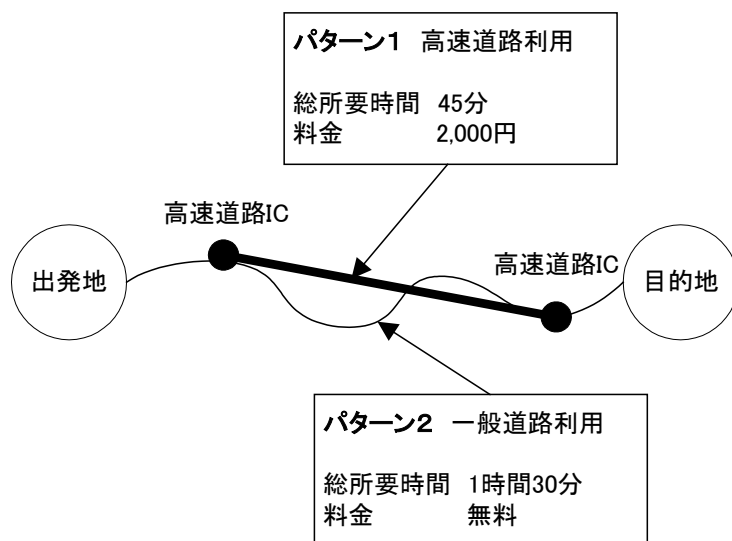
⑥-2 にお進みください。

⑥-2. E T C割引を利用した結果、輸送にかかる所要時間や出発時間、費用はどのように変わりましたか。貴社でE T C割引を最も多く利用する代表的な輸送ルートについてお答えください。注) 所要時間はE T C割引の区間のみについてではなく、出発地から目的地までの全行程についてお答えください。

1) 所要時間	E T C割引を利用前	時間	分
	利用後	時間	分
2) 出発時間	E T C割引を利用前	午前・午後	時 分
	利用後	午前・午後	時 分
3) 高速道路利用料金	E T C割引を利用前	円	
	利用後	円	

⑦. 高速道路の料金が割引された場合の利用意向をお答えください。

目的地までの貨物車輸送において、以下の2つの輸送パターンを想定して、質問にお答えください。



⑦-1. 高速道路の所要時間が 45 分（料金が 2,000 円）、一般道路の所要時間が 1 時間 30 分の場合

1. 高速道路を利用する

P 6 の問 4 にお進みください。

2. 高速道路を利用しない

⑦-2 にお進みください。

⑦-2. 高速道路の利用料金が 2,000 円から 1,400 円に値下げされた場合

1. 高速道路を利用する

2. 高速道路を利用しない

問4. 貴事業所における今後の移転等の意向についてお答えください

①. 貴事業所の物流効率化向上のために必要となる物流施設面の対応として、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の事業所に加えて、新しい施設を新設・賃借する
2. 現在の事業所を廃止して、新設の施設へ移転・統合する
3. 現在の事業所を廃止して、既存の大型施設等へ統合する
4. 現在の事業所から場所や数を変えずに、その機能を高度化する
5. 物流施設面では特に対策はとらない

➡ 対策をとらない理由としてあてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の施設の数と機能で十分満足しているから
2. 施設不足が生じた場合は、アウトソーシング（外部への委託）で対応するから
3. その他・具体的に記入（ ）

②. 以下の設問は、貴事業所が「物流施設を新設・移転する場合」を想定してお答えください

(1) 新しい施設に必要とする機能について、表1の施設機能分類表からあてはまる番号にいくつでも○印をおつけの上、新設する施設数をご記入ください。

注1) 新しい施設の確保について、表2の確保方法分類表から1～9の番号でご記入ください。

注2) 新しい施設に求める条件について、次頁の表3の条件分類表から1～9の番号を3つまでご記入のうえ、条件 へ番号に対応する条件をご記入ください。

新設・移転する施設に求める機能 (表1の番号)	新設・移転する施設数	確保方法 (表2の番号)	新設・移転する施設に求める条件	
			条件番号 (表3の番号)	条件
1・2・3・4・5・6・7・8	1カ所	1	5 1 7	→ 条件 5,000 → 条件 10 → 条件 50,000
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件

＜表1 施設機能分類表＞

1. 製造機能	2. 販売機能	3. 営業・事務機能	4. 保管機能
5. 積み替え機能	6. 荷さばき機能	7. 流通加工機能	
8. その他・具体的に記入（ ）			

＜表2 確保方法分類表＞

1. 公共の用地を取得し、施設を建設する	2. 民間の用地を取得し、施設を建設する
3. 公共の用地を賃借し、施設を建設する	4. 民間の用地を賃借し、施設を建設する
5. 既存の公共施設を買収する	6. 既存の民間施設を買収する
7. 既存の公共施設を賃借する	8. 既存の民間施設を賃借する
9. その他・具体的に記入（ ）	

＜表 3 条件分類表＞

1. 高速道路へのアクセスが便利なこと	条件：高速道路 IC まで自動車で（ ）分以内の場所
2. 港湾へのアクセスが便利なこと	条件：コンテナ港まで自動車で（ ）分以内の場所
3. 空港へのアクセスが便利なこと	条件：空港まで自動車で（ ）分以内の場所
4. 市場、消費地、取引先等へのアクセスが便利なこと	条件：（具体的に： ）まで自動車で（ ）分以内の場所
5. 十分な敷地の広さが確保できること	条件：敷地面積が（ ）m ² 以上必要
6. 施設・用地の分譲価格が妥当であること	条件：用地の 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
7. 施設・用地の賃借費が妥当であること	条件：延べ床 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
8. パート・アルバイト等の人員を確保しやすいこと	
9. その他・具体的に記入（ ）	

(2) 新しい施設の望ましい立地場所を近畿 2 府 4 県内の市区町村単位で 2 つまでご記入ください。

1		府 県		市 郡		区 町村
2		府 県		市 郡		区 町村

問 5. 貴事業所における複合物流施設の利用意向についてお答えください

近畿 2 府 4 県内の臨海部や高速道路沿線に、配送・荷さばき・保管などの機能を備えた複合物流施設（ロジスティックセンター）が整備された場合の、利用意向をお答えください。

1. ぜひ利用したい

2. 利用を検討する

3. 利用する考えはない

＜必要とする施設規模＞

- ・建物延床面積 m²
- ・貨物車駐車容量 台分

＜望ましい立地場所＞

1. 高速道路沿線・IC 周辺

2. 臨海部

3. その他・具体的に（ ）

＜利用しない理由＞

1. 現在の施設で十分であり、新たな施設は必要でないから

2. 近畿 2 府 4 県内に自社にとって望ましい場所がないから

3. 自社以外が整備する施設では、自社の物流特性を満たせないから

4. その他・具体的に記入

（ ）

1. 大阪港南港地区

2. 堺泉北港地区

3. 阪神間（尼崎西宮芦屋港）地区

4. 神戸港六甲アイランド地区

5. 神戸港ポートアイランド地区

6. その他・具体的に記入

（ ）

1. 名神高速道路 IC 名

2. 中国自動車道 IC 名

3. 山陽自動車道 IC 名

4. 第二名神高速道路 仮 IC 名

5. 京奈和自動車道 IC 名

6. その他・具体的に記入

（ ）

注）IC 名等がわからない場合には、区間名・市町村名をご記入ください

問6. 貴事業所における物流効率化のための取り組みについてお答えください

貴事業所における輸配送面での物流効率化のための取り組みについて、下記にあげた対策の現況と今後（およそ5年先）の実施予定と実施内容をご記入ください。

注）運輸業（道路貨物運送業や倉庫業）の方は、1)、2)、4) 項目へのご記入は不要です。

対策		現況	1. 全 部 実 施 す る	2. 実 施 し な い	3. わ か ら な い	4. 実 施 す る	実施する場合の目標値
輸 配 送 方 式 の 取 り 組 み	1) 工場から配送拠点等への直送比率を増やす	直送比率 %	1	2	3	4	直送比率 %へ増やす
	2) 多頻度少量配送を減らし、定時の中大口配送を増やす	多頻度少量配送比率 %	1	2	3	4	多頻度少量配送比率 %へ減らす
	3) 共同配送を導入する、共同配送利用量を増やす	共同配送利用率 %	1	2	3	4	共同配送利用率 %へ増やす
	4) 自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切りかえを進める	自家用貨物車利用率 %	1	2	3	4	自家用貨物車利用率 %へ減らす
	5) 高速道路の利用率を増やす（減らす）	高速道路利用貨物量割合 %	1	2	3	4	高速道路利用貨物量割合 %へ変える
	6) 貨物車利用から鉄道利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	鉄道利用貨物量割合 %	1	2	3	4	鉄道利用貨物量割合 %へ増やす
	7) 貨物車利用から船舶利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	船舶利用貨物量割合 %	1	2	3	4	船舶利用貨物量割合 %へ増やす
そ の 他 の 取 り 組 み	8) 低公害車の利用を増やす	低公害車台数割合 %	1	2	3	4	低公害車台数割合 %へ増やす
	9) ETCの装着率を高める	ETC装着車台数割合 %	1	2	3	4	ETC装着車台数割合 %へ増やす
	10) DPF（ディーゼル微粒子除去装置）の装着率を高める	DPF装着車台数割合 %	1	2	3	4	DPF装着車台数割合 %へ増やす
	11) 上記以外で実施を計画しておられる対策がありましたらその内容を具体的にご記入ください						

問7. 貴事業所における物流業務の効率化のために必要となる行政施策についてお答えください

①. 近畿2府4県内の道路について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 第二名神高速道路、京奈和自動車道、阪神高速道路湾岸線（六甲アイランド～垂水間）等の高速道路ネットワークの整備

↳ 整備を優先する道路・区間
主な理由

- ## 2. 高速道路のインターチェンジ（IC）へアクセスする一般道路の整備

→ アクセス道路整備を必要とする IC
主な理由

- ### 3. 港湾や貨物駅へアクセスする一般道路の整備

→ アクセス道路整備を必要とする港湾・貨物駅
主な理由

4. 道路のボトルネック（重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所）の解消

→ 渋滞解消を必要とするボトルネック地点 ボトルネックになっている理由

5. 規制緩和の促進（大型車や海上コンテナ輸送車両に対する通行規制の緩和など）

必要とする規制緩和の内容

- ## 6. 大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ

7. その他・具体的にご記入ください

- ## 8. 特になし

②. 物流施設用地について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 公共による新たな用地整備と妥当なコストでの提供

→ 用地整備を必要とする地区

- ## 2. 整備済みの工業団地等への移転促進のための優遇・助成方策の導入

優遇・助成方を必要とする地区

- ### 3. 貨物車用の公共駐車場の整備・充実

➡整備を必要とする地区

- #### 4. 貨物車用の休憩施設（トラックステーション等）の整備

整備を必要とする地区

5. その他・具体的にご記入ください

- ## 6. 特になし

③. 物流に関連した社会的な問題（渋滞、環境問題等）について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導

2. 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備

➡ 整備を必要とする地区

3. 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷さばき施設等の整備

➡ 整備を必要とする地区

4. 鉄道や船舶の利用のしやすさ向上のための貨物駅や港湾の整備

➡ 整備を必要とする貨物駅・港湾

5. 貨物車から鉄道や船舶への輸送手段転換（モーダルシフト）の促進

（シフト貨物量や長距離フェリー利用トラック台数当たり一定の助成金を交付、など）

6. NO_x・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実

7. 共同配送など物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入

8. その他・具体的に記入（

9. 特になし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。

秘

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 物流に関する意向アンケート

国土交通省近畿地方整備局 滋賀県
京都府 大阪府 兵庫県 奈良県
和歌山県 京都市 大阪市 神戸市
西日本高速道路（株）関西支社
阪神高速道路（株） 都市再生機構

記入についてのお願い

- このアンケート調査は、将来の物の輸送等に関する総合的な交通計画を立案するための基礎資料とさせていただくものです。御協力をよろしくお願いします。
 - 各質問項目は、本アンケートが届いた貴事業所に関する内容に限定してお答えください。他の事業所（貴事業所の他の支店、他の営業所等）の内容は含めないでください。
 - 同封の返送用封筒にて 12月2日(金)までにポストにご投函ください。
- ・ ご記入しにくい質問などございましたら、貴事業所の関連部署や委託先等にご確認いただき、ご記入ください。
 - ・ 回答は、 の部分（色のついたところ）にご記入ください。記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
 - ・ なお、ご記入いただいた内容をそのまま公表したり、本調査の目的以外に使用することはありません。

<問い合わせ先>

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 調査実施本部

〒0000-0000 0000000000000000

フリーダイヤル 0000-0000-0000

（午前9：00～午後6：00、土曜・日曜・祝祭日を除く）

会社及び事業所名				
事業所所在地				
アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の立地場所の評価についてお答えください

①. 貴事業所が現在の場所へ立地された理由として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。また、その中でもっとも重要な番号ひとつに◎印をおつけください。

1. 必要・十分な広さだったから
2. 地代・賃料が妥当だったから
3. 行政等からの助成や優遇策が利用できたから
4. 顧客や得意先の事業所に近いから
5. 下請けや仕入先に近いから
6. 高速道路のインターチェンジに近いから
7. 幹線道路に近いから
8. 港湾、貨物駅、空港に近いから
9. 従業員やパートタイマーを確保しやすいから
10. 従業員やパートタイマーの通勤に便利だから
11. その他・具体的に記入 ()
12. わからない

②. 立地後に生じた問題点として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 業務拡大に伴い、用地、施設が手狭になった
2. 設備が老朽化し、効率が低下している
3. 土地・施設の利用コスト（地代、賃料）の負担が大きい
4. 周辺に住宅が増え、貨物車の出入りや住宅街の通り抜け等について住民から苦情が出ている
5. 周辺に他事業所の立地が増加し貨物車が増えたため、周辺道路の混雑が激しくなった
6. 周辺の道路が未整備のため、高速道路や幹線道路等へのアクセスが不便
7. 幹線道路までの区間で歩道が未整備のため、歩行者の通行に危険が生じている
8. その他・具体的に記入 ()
9. 特になし

③. 全体的に見て、現在の立地場所には満足しておられますか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | |

問2. 公共トラックターミナル、鉄道貨物駅、港湾、空港の利用についてお答えください

貨物の搬出入における拠点（公共トラックターミナル・鉄道貨物駅・港湾・空港）の利用の有無についてお答えください。利用している拠点があれば、その拠点を表1から番号を選んでご記入ください。また、利用上の問題点を表2から番号でお選びの上、問題の発生箇所をご記入ください。

1. 下表の利用拠点分類表にある拠点は利用していない  問3へお進みください。

2. 利用している 

利用している拠点 (表1の番号)	問題点 (表2の番号)	左記問題点の発生箇所(道路名や区間等)
例 2	4	中央環状線一津屋及び奈良付近
7	8	
//	4	大阪臨海線阪堺大橋及び三宝付近

(注) 利用拠点や利用上の問題点において、その他とお答えの場合は、問題箇所記入欄に具体的にご記入ください。

<表1 利用拠点分類表>

公共トラックターミナル	鉄道貨物駅	港 湾	空 港
1. 東大阪トラックターミナル(東大阪市)	7. 大阪貨物ターミナル駅	15. 大阪港	25. 関西国際空港
2. 北大阪トラックターミナル(茨木市)	8. 梅田駅	16. 堺泉北港	26. 大阪国際空港
3. 大阪南港トラックターミナル(大阪市)	9. 百済駅	17. 阪南港	27. その他の空港
4. 阪神流通センタートラックターミナル(西宮市)	10. 安治川口駅	18. 神戸港	()
5. 神戸トラックターミナル(神戸市)	11. 神戸貨物ターミナル駅	19. 尼崎西宮芦屋港	
6. その他の公共トラックターミナル ()	12. 姫路駅	20. 東播磨港	
	13. 梅小路駅	21. 姫路港	
	14. その他の貨物駅 ()	22. 和歌山下津港	
		23. 舞鶴港	
		24. その他の港湾 ()	

<表2 拠点利用上の問題点>

1. 拠点へのアクセス道路が少ない
2. 拠点へのアクセス道路の幅員が狭い
3. 拠点へのアクセス道路に通行規制(高さ制限、重量制限等)がある
4. 拠点周辺道路が混雑している
5. 拠点周辺道路における貨物車の路上駐車が多い
6. 拠点内及び周辺に駐車場が少ない(収容台数が少ない)
7. その他・具体的に記入()
8. 特に問題点はない

問3. 貨物車の高速道路の利用についてお答えください

①. 貴事業所における高速道路の利用・非利用については、どなたが判断されていますか。

1. 物流担当部署
2. ドライバー
3. 輸送委託先
4. その他・具体的に記入 ()
5. わからない

②. 貴事業所における高速道路の利用実態について、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 高速道路を利用可能な区間は、おおむね利用している
 2. どちらかと言えば高速道路を利用することが多い
 3. どちらかと言えば高速道路を利用しないことが多い
 4. 高速道路を利用可能な区間でも、ほとんど利用しない
 5. 高速道路を利用できる区間がない
- } P4の④へお進みください。
- } 引き続き、③にお進みください。
- P6の問4へお進みください。

③. (②で3. または4. を選択された方がお答えください)

高速道路を利用しない理由として、あてはまる番号に全て○印をおつけいただき、その中で最もあてはまる番号ひとつに◎をつけてください。

1. 利用しようとする高速道路区間が渋滞しているから
→利用したい区間 IC～ IC
2. 一般道路が空いており、高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
→時間短縮のメリットがないと感じる区間 IC～ IC
3. 高速道路の利用料金が安いから
→料金が安いと感じる区間 IC～ IC
4. 貴事業所で利用料金を負担する必要があるから
5. 90 km/h リミッター装着のため高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
6. その他・具体的に記入 ()

→ P4の⑤へお進みください。

④. 貴事業所では、一日に平均で何台ぐらいの貨物車が高速道路を利用されますか。利用のない場合は「0 (台)」とご記入ください。

注) 大型車とは最大積載重量5トン以上の貨物車を示します。

1. 旧日本道路公団(10月1日より民営化)の高速道路 (例: 東名高速道路、名神高速道路、中国自動車道、東名阪自動車道 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)
2. 阪神高速道路
台/日 (うち、大型車 台/日)
3. 近畿圏内の他の有料道路 (例: 第二阪奈有料道路、西神戸有料道路 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)

⑤. 貴事業所の貨物車運行におけるETCの利用状況についてお答えください。

⑤-1. 貴事業所では、ETCを導入されていますか。

1. 全ての貨物車に導入している
2. 一部の貨物車に導入している (約 割の車両)
3. 導入していない

⑤-2. 以下に示すETC割引が実施されていることを知っていますか。

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1) 深夜割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2) 通勤割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3) 早朝夜間割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4) 大口多頻度割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 5) 阪神高速道路ETC社会実験 | 1. 知っている | 2. 知らない |

【参考: 割引の概要 (同封のETC割引に関する冊子をご覧ください)】

- ・ 深夜割引 0:00~4:00 の利用を3割引
- ・ 通勤割引 6:00~9:00、17:00~20:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 早朝夜間割引 22:00~6:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 大口多頻度割引 利用実績に応じて1~2割引
- ・ ETC社会実験 阪神高速道路でのETC利用により、平日は時間帯割引 (オフピーク割引)、休日は土曜・休日割引を実施

⑤-3. 上記で知らなかったETC割引について、今後の利用を検討されますか。

1. 検討する
利用を検討される番号にいくつでも○印をおつけください。
1. 深夜割引 2. 通勤割引 3. 早朝夜間割引 4. 大口多頻度割引
5. 阪神高速道路ETC社会実験
2. 検討しない
3. どちらともいえない
4. 全て知っていた

⑥. 以下は、E T C割引を実際に御利用されている場合のみお答えください。利用されていない場合は⑦にお進みください。

⑥-1. 貴事業所では、E T C割引の実施後、貨物車による輸送に変更が生じましたか。あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 変更が生じていない ☐ ⑦にお進みください。

2. 変更が生じた ☐

あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 従来は一般道路利用のみであったが、高速道路を使うようになった

2. 従来も高速道路を利用していたが、利用区間を延長あるいは変更するようになった

3. 利用時間帯を割引時間帯へ変更した

4. その他・具体的に記入 ()

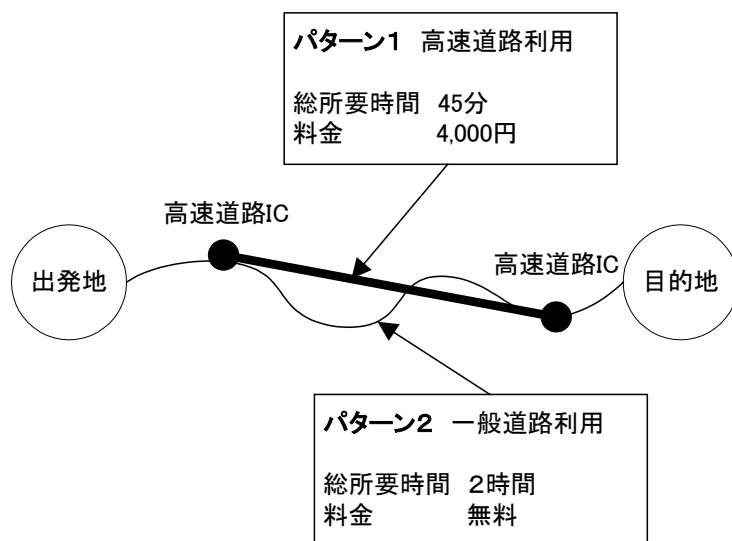
⑥-2 にお進みください。

⑥-2. E T C割引を利用した結果、輸送にかかる所要時間や出発時間、費用はどのように変わりましたか。貴社でE T C割引を最も多く利用する代表的な輸送ルートについてお答えください。注) 所要時間はE T C割引の区間のみについてではなく、出発地から目的地までの全行程についてお答えください。

1) 所要時間	E T C割引を利用前	時間	分
	利用後	時間	分
2) 出発時間	E T C割引を利用前	午前・午後	時 分
	利用後	午前・午後	時 分
3) 高速道路利用料金	E T C割引を利用前	円	
	利用後	円	

⑦. 高速道路の料金が割引された場合の利用意向をお答えください。

目的地までの貨物車輸送において、以下の2つの輸送パターンを想定して、質問にお答えください。



⑦-1. 高速道路の所要時間が 45 分（料金が 4,000 円）、一般道路の所要時間が 2 時間の場合

1. 高速道路を利用する

⑦-1 の問4にお進みください。

2. 高速道路を利用しない

⑦-2 にお進みください。

⑦-2. 高速道路の利用料金が 4,000 円から 3,000 円に値下げされた場合

1. 高速道路を利用する

2. 高速道路を利用しない

問4. 貴事業所における今後の移転等の意向についてお答えください

①. 貴事業所の物流効率化向上のために必要となる物流施設面の対応として、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の事業所に加えて、新しい施設を新設・賃借する
2. 現在の事業所を廃止して、新設の施設へ移転・統合する
3. 現在の事業所を廃止して、既存の大型施設等へ統合する
4. 現在の事業所から場所や数を変えずに、その機能を高度化する
5. 物流施設面では特に対策はとらない

➡ 対策をとらない理由としてあてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の施設の数と機能で十分満足しているから
2. 施設不足が生じた場合は、アウトソーシング（外部への委託）で対応するから
3. その他・具体的に記入（ ）

②. 以下の設問は、貴事業所が「物流施設を新設・移転する場合」を想定してお答えください

(1) 新しい施設に必要とする機能について、表1の施設機能分類表からあてはまる番号にいくつでも○印をおつけの上、新設する施設数をご記入ください。

注1) 新しい施設の確保について、表2の確保方法分類表から1～9の番号でご記入ください。

注2) 新しい施設に求める条件について、次頁の表3の条件分類表から1～9の番号を3つまでご記入のうえ、条件 へ番号に対応する条件をご記入ください。

新設・移転する施設に求める機能 (表1の番号)	新設・移転 する施設数	確保方法 (表2の番号)	新設・移転する施設に求める条件	
			条件番号 (表3の番号)	条件
1・2・3・4・5・6・7・8	1カ所	1	5 1 7	→ 条件 5,000 → 条件 10 → 条件 50,000
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件

＜表1 施設機能分類表＞

1. 製造機能	2. 販売機能	3. 営業・事務機能	4. 保管機能
5. 積み替え機能	6. 荷さばき機能	7. 流通加工機能	
8. その他・具体的に記入（ ）			

＜表2 確保方法分類表＞

1. 公共の用地を取得し、施設を建設する	2. 民間の用地を取得し、施設を建設する
3. 公共の用地を賃借し、施設を建設する	4. 民間の用地を賃借し、施設を建設する
5. 既存の公共施設を買収する	6. 既存の民間施設を買収する
7. 既存の公共施設を賃借する	8. 既存の民間施設を賃借する
9. その他・具体的に記入（ ）	

＜表 3 条件分類表＞

1. 高速道路へのアクセスが便利なこと	条件：高速道路 IC まで自動車で（ ）分以内の場所
2. 港湾へのアクセスが便利なこと	条件：コンテナ港まで自動車で（ ）分以内の場所
3. 空港へのアクセスが便利なこと	条件：空港まで自動車で（ ）分以内の場所
4. 市場、消費地、取引先等へのアクセスが便利なこと	条件：（具体的に： ）まで自動車で（ ）分以内の場所
5. 十分な敷地の広さが確保できること	条件：敷地面積が（ ）m ² 以上必要
6. 施設・用地の分譲価格が妥当であること	条件：用地の 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
7. 施設・用地の賃借費が妥当であること	条件：延べ床 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
8. パート・アルバイト等の人員を確保しやすいこと	
9. その他・具体的に記入（ ）	

(2) 新しい施設の望ましい立地場所を近畿 2 府 4 県内の市区町村単位で 2 つまでご記入ください。

1		府 県		市 郡		区 町村
2		府 県		市 郡		区 町村

問 5. 貴事業所における複合物流施設の利用意向についてお答えください

近畿 2 府 4 県内の臨海部や高速道路沿線に、配送・荷さばき・保管などの機能を備えた複合物流施設（ロジスティックセンター）が整備された場合の、利用意向をお答えください。

1. ぜひ利用したい

2. 利用を検討する

3. 利用する考えはない

→

＜利用しない理由＞

1. 現在の施設で十分であり、新たな施設は必要でないから

2. 近畿 2 府 4 県内に自社にとって望ましい場所がないから

3. 自社以外が整備する施設では、自社の物流特性を満たせないから

4. その他・具体的に記入

（ ）

＜必要とする施設規模＞

・建物延床面積 () m²

・貨物車駐車容量 () 台分

＜望ましい立地場所＞

1. 高速道路沿線・IC 周辺

2. 臨海部

3. その他・具体的に（ ）

1. 大阪港南港地区

2. 堺泉北港地区

3. 阪神間（尼崎西宮芦屋港）地区

4. 神戸港六甲アイランド地区

5. 神戸港ポートアイランド地区

6. その他・具体的に記入

（ ）

1. 名神高速道路 IC 名

2. 中国自動車道 IC 名

3. 山陽自動車道 IC 名

4. 第二名神高速道路 仮 IC 名

5. 京奈和自動車道 IC 名

6. その他・具体的に記入

（ ）

注）IC 名等がわからない場合には、区間名・市町村名をご記入ください

問6. 貴事業所における物流効率化のための取り組みについてお答えください

貴事業所における輸配送面での物流効率化のための取り組みについて、下記にあげた対策の現況と今後（およそ5年先）の実施予定と実施内容をご記入ください。

注）運輸業（道路貨物運送業や倉庫業）の方は、1）、2）、4）項目へのご記入は不要です。

対策		現況	1. 全 部 実 施 す る	2. 実 施 し な い	3. わ か ら な い	4. 実 施 す る	実施する場合の目標値
輸 配 送 方 式 の 取 り 組 み	1) 工場から配送拠点等への直送比率を増やす	直送比率 %	1	2	3	4	直送比率 %へ増やす
	2) 多頻度少量配送を減らし、定時の中大口配送を増やす	多頻度少量配送比率 %	1	2	3	4	多頻度少量配送比率 %へ減らす
	3) 共同配送を導入する、共同配送利用量を増やす	共同配送利用率 %	1	2	3	4	共同配送利用率 %へ増やす
	4) 自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切りかえを進める	自家用貨物車利用率 %	1	2	3	4	自家用貨物車利用率 %へ減らす
	5) 高速道路の利用率を増やす（減らす）	高速道路利用貨物量割合 %	1	2	3	4	高速道路利用貨物量割合 %へ変える
	6) 貨物車利用から鉄道利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	鉄道利用貨物量割合 %	1	2	3	4	鉄道利用貨物量割合 %へ増やす
	7) 貨物車利用から船舶利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	船舶利用貨物量割合 %	1	2	3	4	船舶利用貨物量割合 %へ増やす
そ の 他 の 取 り 組 み	8) 低公害車の利用を増やす	低公害車台数割合 %	1	2	3	4	低公害車台数割合 %へ増やす
	9) ETCの装着率を高める	ETC装着車台数割合 %	1	2	3	4	ETC装着車台数割合 %へ増やす
	10) DPF（ディーゼル微粒子除去装置）の装着率を高める	DPF装着車台数割合 %	1	2	3	4	DPF装着車台数割合 %へ増やす
	11) 上記以外で実施を計画しておられる対策がありましたらその内容を具体的にご記入ください						

問 7. 貴事業所における物流業務の効率化のために必要となる行政施策についてお答えください

①. 近畿 2 府 4 県内の道路について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 第二名神高速道路、京奈和自動車道、阪神高速道路湾岸線（六甲アイランド～垂水間）等の高速道路ネットワークの整備

↳ 整備を優先する道路・区間
 主な理由
2. 高速道路のインターチェンジ（ＩＣ）へアクセスする一般道路の整備

↳ アクセス道路整備を必要とするＩＣ
 主な理由
3. 港湾や貨物駅へアクセスする一般道路の整備

↳ アクセス道路整備を必要とする港湾・貨物駅
 主な理由
4. 道路のボトルネック（重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所）の解消

↳ 渋滞解消を必要とするボトルネック地点

 →
→

 ボトルネックになっている理由
5. 規制緩和の促進（大型車や海上コンテナ輸送車両に対する通行規制の緩和など）

↳ 必要とする規制緩和の内容
6. 大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ
7. その他・具体的にご記入ください
8. 特になし

②. 物流施設用地について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 公共による新たな用地整備と妥当なコストでの提供

↳ 用地整備を必要とする地区
2. 整備済みの工業団地等への移転促進のための優遇・助成方策の導入

↳ 優遇・助成方策を必要とする地区
3. 貨物車用の公共駐車場の整備・充実

↳ 整備を必要とする地区
4. 貨物車用の休憩施設（トラックステーション等）の整備

↳ 整備を必要とする地区
5. その他・具体的にご記入ください
6. 特になし

③. 物流に関連した社会的な問題（渋滞、環境問題等）について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導

2. 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備

➡ 整備を必要とする地区

3. 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷さばき施設等の整備

➡ 整備を必要とする地区

4. 鉄道や船舶の利用のしやすさ向上のための貨物駅や港湾の整備

➡ 整備を必要とする貨物駅・港湾

5. 貨物車から鉄道や船舶への輸送手段転換（モーダルシフト）の促進

（シフト貨物量や長距離フェリー利用トラック台数当たりにより一定の助成金を交付、など）

6. NO_x・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実

7. 共同配送など物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入

8. その他・具体的に記入（

9. 特になし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。

秘

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 物流に関する意向アンケート

国土交通省近畿地方整備局 滋賀県
京都府 大阪府 兵庫県 奈良県
和歌山県 京都市 大阪市 神戸市
西日本高速道路（株）関西支社
阪神高速道路（株） 都市再生機構

記入についてのお願い

- このアンケート調査は、将来の物の輸送等に関する総合的な交通計画を立案するための基礎資料とさせていただくものです。御協力をよろしくお願いします。
 - 各質問項目は、本アンケートが届いた貴事業所に関する内容に限定してお答えください。他の事業所（貴事業所の他の支店、他の営業所等）の内容は含めないでください。
 - 同封の返送用封筒にて 12月2日(金)までにポストにご投函ください。
- ・ ご記入しにくい質問などございましたら、貴事業所の関連部署や委託先等にご確認いただき、ご記入ください。
 - ・ 回答は、 の部分（色のついたところ）にご記入ください。記入は黒の鉛筆またはボールペンをお願いします。
 - ・ なお、ご記入いただいた内容をそのまま公表したり、本調査の目的以外に使用することはありません。

<問い合わせ先>

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 調査実施本部

〒0000-0000 0000000000000000

フリーダイヤル 0000-0000-0000

（午前9：00～午後6：00、土曜・日曜・祝祭日を除く）

会社及び事業所名				
事業所所在地				
アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の立地場所の評価についてお答えください

①. 貴事業所が現在の場所へ立地された理由として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。また、その中でもっとも重要な番号ひとつに◎印をおつけください。

1. 必要・十分な広さだったから
2. 地代・賃料が妥当だったから
3. 行政等からの助成や優遇策が利用できたから
4. 顧客や得意先の事業所に近いから
5. 下請けや仕入先に近いから
6. 高速道路のインターチェンジに近いから
7. 幹線道路に近いから
8. 港湾、貨物駅、空港に近いから
9. 従業員やパートタイマーを確保しやすいから
10. 従業員やパートタイマーの通勤に便利だから
11. その他・具体的に記入 ()
12. わからない

②. 立地後に生じた問題点として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 業務拡大に伴い、用地、施設が手狭になった
2. 設備が老朽化し、効率が低下している
3. 土地・施設の利用コスト（地代、賃料）の負担が大きい
4. 周辺に住宅が増え、貨物車の出入りや住宅街の通り抜け等について住民から苦情が出ている
5. 周辺に他事業所の立地が増加し貨物車が増えたため、周辺道路の混雑が激しくなった
6. 周辺の道路が未整備のため、高速道路や幹線道路等へのアクセスが不便
7. 幹線道路までの区間で歩道が未整備のため、歩行者の通行に危険が生じている
8. その他・具体的に記入 ()
9. 特になし

③. 全体的に見て、現在の立地場所には満足しておられますか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | |

問2. 公共トラックターミナル、鉄道貨物駅、港湾、空港の利用についてお答えください

貨物の搬出入における拠点（公共トラックターミナル・鉄道貨物駅・港湾・空港）の利用の有無についてお答えください。利用している拠点があれば、その拠点を表1から番号を選んでご記入ください。また、利用上の問題点を表2から番号でお選びの上、問題の発生箇所をご記入ください。

1. 下表の利用拠点分類表にある拠点は利用していない  問3へお進みください。

2. 利用している 

利用している拠点 (表1の番号)	問題点 (表2の番号)	左記問題点の発生箇所(道路名や区間等)
例 2	4	中央環状線一津屋及び奈良付近
7	8	
//	4	大阪臨海線阪堺大橋及び三宝付近

(注) 利用拠点や利用上の問題点において、その他とお答えの場合は、問題箇所記入欄に具体的にご記入ください。

<表1 利用拠点分類表>

公共トラックターミナル	鉄道貨物駅	港 湾	空 港
1. 東大阪トラックターミナル(東大阪市)	7. 大阪貨物ターミナル駅	15. 大阪港	25. 関西国際空港
2. 北大阪トラックターミナル(茨木市)	8. 梅田駅	16. 堺泉北港	26. 大阪国際空港
3. 大阪南港トラックターミナル(大阪市)	9. 百済駅	17. 阪南港	27. その他の空港
4. 阪神流通センタートラックターミナル(西宮市)	10. 安治川口駅	18. 神戸港	()
5. 神戸トラックターミナル(神戸市)	11. 神戸貨物ターミナル駅	19. 尼崎西宮芦屋港	
6. その他の公共トラックターミナル ()	12. 姫路駅	20. 東播磨港	
	13. 梅小路駅	21. 姫路港	
	14. その他の貨物駅 ()	22. 和歌山下津港	
		23. 舞鶴港	
		24. その他の港湾 ()	

<表2 拠点利用上の問題点>

1. 拠点へのアクセス道路が少ない
2. 拠点へのアクセス道路の幅員が狭い
3. 拠点へのアクセス道路に通行規制(高さ制限、重量制限等)がある
4. 拠点周辺道路が混雑している
5. 拠点周辺道路における貨物車の路上駐車が多い
6. 拠点内及び周辺に駐車場が少ない(収容台数が少ない)
7. その他・具体的に記入()
8. 特に問題点はない

問3. 貨物車の高速道路の利用についてお答えください

①. 貴事業所における高速道路の利用・非利用については、どなたが判断されていますか。

1. 物流担当部署
2. ドライバー
3. 輸送委託先
4. その他・具体的に記入 ()
5. わからない

②. 貴事業所における高速道路の利用実態について、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 高速道路を利用可能な区間は、おおむね利用している
 2. どちらかと言えば高速道路を利用することが多い
 3. どちらかと言えば高速道路を利用しないことが多い
 4. 高速道路を利用可能な区間でも、ほとんど利用しない
 5. 高速道路を利用できる区間がない
- } P4の④へお進みください。
- } 引き続き、③にお進みください。
- P6の問4へお進みください。

③. (②で3. または4. を選択された方がお答えください)

高速道路を利用しない理由として、あてはまる番号に全て○印をおつけいただき、その中で最もあてはまる番号ひとつに◎をつけてください。

1. 利用しようとする高速道路区間が渋滞しているから
→利用したい区間 IC～ IC
2. 一般道路が空いており、高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
→時間短縮のメリットがないと感じる区間 IC～ IC
3. 高速道路の利用料金が安いから
→料金が安いと感じる区間 IC～ IC
4. 貴事業所で利用料金を負担する必要があるから
5. 90 km/h リミッター装着のため高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
6. その他・具体的に記入 ()

→ P4の⑤へお進みください。

④. 貴事業所では、一日に平均で何台ぐらいの貨物車が高速道路を利用されますか。利用のない場合は「0 (台)」とご記入ください。

注) 大型車とは最大積載重量5トン以上の貨物車を示します。

1. 旧日本道路公団(10月1日より民営化)の高速道路 (例: 東名高速道路、名神高速道路、中国自動車道、東名阪自動車道 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)
2. 阪神高速道路
台/日 (うち、大型車 台/日)
3. 近畿圏内の他の有料道路 (例: 第二阪奈有料道路、西神戸有料道路 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)

⑤. 貴事業所の貨物車運行におけるETCの利用状況についてお答えください。

⑤-1. 貴事業所では、ETCを導入されていますか。

1. 全ての貨物車に導入している
2. 一部の貨物車に導入している (約 割の車両)
3. 導入していない

⑤-2. 以下に示すETC割引が実施されていることを知っていますか。

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1) 深夜割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2) 通勤割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3) 早朝夜間割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4) 大口多頻度割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 5) 阪神高速道路ETC社会実験 | 1. 知っている | 2. 知らない |

【参考: 割引の概要 (同封のETC割引に関する冊子をご覧ください)】

- ・ 深夜割引 0:00~4:00 の利用を3割引
- ・ 通勤割引 6:00~9:00、17:00~20:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 早朝夜間割引 22:00~6:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 大口多頻度割引 利用実績に応じて1~2割引
- ・ ETC社会実験 阪神高速道路でのETC利用により、平日は時間帯割引 (オフピーク割引)、休日は土曜・休日割引を実施

⑤-3. 上記で知らなかったETC割引について、今後の利用を検討されますか。

1. 検討する
利用を検討される番号にいくつでも○印をおつけください。
1. 深夜割引 2. 通勤割引 3. 早朝夜間割引 4. 大口多頻度割引
5. 阪神高速道路ETC社会実験
2. 検討しない
3. どちらともいえない
4. 全て知っていた

⑥. 以下は、E T C割引を実際に御利用されている場合のみお答えください。利用されていない場合は⑦にお進みください。

⑥-1. 貴事業所では、E T C割引の実施後、貨物車による輸送に変更が生じましたか。あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 変更が生じていない ☐ ⑦にお進みください。

2. 変更が生じた ☐

あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 従来は一般道路利用のみであったが、高速道路を使うようになった

2. 従来も高速道路を利用していたが、利用区間を延長あるいは変更するようになった

3. 利用時間帯を割引時間帯へ変更した

4. その他・具体的に記入 ()

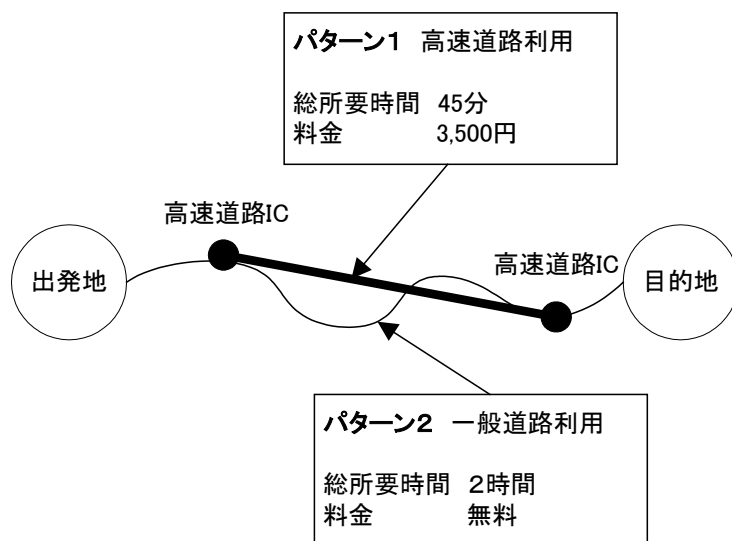
⑥-2 にお進みください。

⑥-2. E T C割引を利用した結果、輸送にかかる所要時間や出発時間、費用はどのように変わりましたか。貴社でE T C割引を最も多く利用する代表的な輸送ルートについてお答えください。注) 所要時間はE T C割引の区間のみについてではなく、出発地から目的地までの全行程についてお答えください。

1) 所要時間	E T C割引を利用前	時間	分	
	利用後	時間	分	
2) 出発時間	E T C割引を利用前	午前・午後	時	分
	利用後	午前・午後	時	分
3) 高速道路利用料金	E T C割引を利用前	円		
	利用後	円		

⑦. 高速道路の料金が割引された場合の利用意向をお答えください。

目的地までの貨物車輸送において、以下の2つの輸送パターンを想定して、質問にお答えください。



⑦-1. 高速道路の所要時間が 45 分（料金が 3,500 円）、一般道路の所要時間が 2 時間の場合

1. 高速道路を利用する

⑦-1 の問4にお進みください。

2. 高速道路を利用しない

⑦-2 にお進みください。

⑦-2. 高速道路の利用料金が 3,500 円から 2,500 円に値下げされた場合

1. 高速道路を利用する

2. 高速道路を利用しない

問4. 貴事業所における今後の移転等の意向についてお答えください

①. 貴事業所の物流効率化向上のために必要となる物流施設面の対応として、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の事業所に加えて、新しい施設を新設・賃借する
2. 現在の事業所を廃止して、新設の施設へ移転・統合する
3. 現在の事業所を廃止して、既存の大型施設等へ統合する
4. 現在の事業所から場所や数を変えずに、その機能を高度化する
5. 物流施設面では特に対策はとらない

➡ 対策をとらない理由としてあてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の施設の数と機能で十分満足しているから
2. 施設不足が生じた場合は、アウトソーシング（外部への委託）で対応するから
3. その他・具体的に記入（ ）

②. 以下の設問は、貴事業所が「物流施設を新設・移転する場合」を想定してお答えください

(1) 新しい施設に必要とする機能について、表1の施設機能分類表からあてはまる番号にいくつでも○印をおつけの上、新設する施設数をご記入ください。

注1) 新しい施設の確保について、表2の確保方法分類表から1～9の番号でご記入ください。

注2) 新しい施設に求める条件について、次頁の表3の条件分類表から1～9の番号を3つまでご記入のうえ、条件 へ番号に対応する条件をご記入ください。

新設・移転する施設に求める機能 (表1の番号)	新設・移転する施設数	確保方法 (表2の番号)	新設・移転する施設に求める条件	
			条件番号 (表3の番号)	条件
1・2・3・4・5・6・7・8	1カ所	1	5 1 7	→ 条件 5,000 → 条件 10 → 条件 50,000
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件

＜表1 施設機能分類表＞

1. 製造機能	2. 販売機能	3. 営業・事務機能	4. 保管機能
5. 積み替え機能	6. 荷さばき機能	7. 流通加工機能	
8. その他・具体的に記入（ ）			

＜表2 確保方法分類表＞

1. 公共の用地を取得し、施設を建設する	2. 民間の用地を取得し、施設を建設する
3. 公共の用地を賃借し、施設を建設する	4. 民間の用地を賃借し、施設を建設する
5. 既存の公共施設を買収する	6. 既存の民間施設を買収する
7. 既存の公共施設を賃借する	8. 既存の民間施設を賃借する
9. その他・具体的に記入（ ）	

＜表 3 条件分類表＞

1. 高速道路へのアクセスが便利なこと	条件：高速道路 IC まで自動車で（ ）分以内の場所
2. 港湾へのアクセスが便利なこと	条件：コンテナ港まで自動車で（ ）分以内の場所
3. 空港へのアクセスが便利なこと	条件：空港まで自動車で（ ）分以内の場所
4. 市場、消費地、取引先等へのアクセスが便利なこと	条件：（具体的に： ）まで自動車で（ ）分以内の場所
5. 十分な敷地の広さが確保できること	条件：敷地面積が（ ）m ² 以上必要
6. 施設・用地の分譲価格が妥当であること	条件：用地の 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
7. 施設・用地の賃借費が妥当であること	条件：延べ床 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
8. パート・アルバイト等の人員を確保しやすいこと	
9. その他・具体的に記入（ ）	

(2) 新しい施設の望ましい立地場所を近畿 2 府 4 県内の市区町村単位で 2 つまでご記入ください。

1		府 県		市 郡		区 町村
2		府 県		市 郡		区 町村

問 5. 貴事業所における複合物流施設の利用意向についてお答えください

近畿 2 府 4 県内の臨海部や高速道路沿線に、配送・荷さばき・保管などの機能を備えた複合物流施設（ロジスティックセンター）が整備された場合の、利用意向をお答えください。

1. ぜひ利用したい

2. 利用を検討する

3. 利用する考えはない

＜必要とする施設規模＞

- ・建物延床面積 m²
- ・貨物車駐車容量 台分

＜望ましい立地場所＞

1. 高速道路沿線・IC 周辺

2. 臨海部

3. その他・具体的に（ ）

＜利用しない理由＞

1. 現在の施設で十分であり、新たな施設は必要でないから

2. 近畿 2 府 4 県内に自社にとって望ましい場所がないから

3. 自社以外が整備する施設では、自社の物流特性を満たせないから

4. その他・具体的に記入

（ ）

1. 大阪港南港地区

2. 堺泉北港地区

3. 阪神間（尼崎西宮芦屋港）地区

4. 神戸港六甲アイランド地区

5. 神戸港ポートアイランド地区

6. その他・具体的に記入

（ ）

1. 名神高速道路 IC 名

2. 中国自動車道 IC 名

3. 山陽自動車道 IC 名

4. 第二名神高速道路 仮 IC 名

5. 京奈和自動車道 IC 名

6. その他・具体的に記入

（ ）

注）IC 名等がわからない場合には、区間名・市町村名をご記入ください

問6. 貴事業所における物流効率化のための取り組みについてお答えください

貴事業所における輸配送面での物流効率化のための取り組みについて、下記にあげた対策の現況と今後（およそ5年先）の実施予定と実施内容をご記入ください。

注）運輸業（道路貨物運送業や倉庫業）の方は、1）、2）、4）項目へのご記入は不要です。

対策		現況	1. 全 部 実 施 す る	2. 実 施 し な い	3. わ か ら な い	4. 実 施 す る	実施する場合の目標値
輸 配 送 方 式 の 取 り 組 み	1) 工場から配送拠点等への直送比率を増やす	直送比率 %	1	2	3	4	直送比率 %へ増やす
	2) 多頻度少量配送を減らし、定時の中大口配送を増やす	多頻度少量配送比率 %	1	2	3	4	多頻度少量配送比率 %へ減らす
	3) 共同配送を導入する、共同配送利用量を増やす	共同配送利用率 %	1	2	3	4	共同配送利用率 %へ増やす
	4) 自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切りかえを進める	自家用貨物車利用率 %	1	2	3	4	自家用貨物車利用率 %へ減らす
	5) 高速道路の利用率を増やす（減らす）	高速道路利用貨物量割合 %	1	2	3	4	高速道路利用貨物量割合 %へ変える
	6) 貨物車利用から鉄道利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	鉄道利用貨物量割合 %	1	2	3	4	鉄道利用貨物量割合 %へ増やす
	7) 貨物車利用から船舶利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	船舶利用貨物量割合 %	1	2	3	4	船舶利用貨物量割合 %へ増やす
そ の 他 の 取 り 組 み	8) 低公害車の利用を増やす	低公害車台数割合 %	1	2	3	4	低公害車台数割合 %へ増やす
	9) ETCの装着率を高める	ETC装着車台数割合 %	1	2	3	4	ETC装着車台数割合 %へ増やす
	10) DPF（ディーゼル微粒子除去装置）の装着率を高める	DPF装着車台数割合 %	1	2	3	4	DPF装着車台数割合 %へ増やす
	11) 上記以外で実施を計画しておられる対策がありましたらその内容を具体的にご記入ください						

問7. 貴事業所における物流業務の効率化のために必要となる行政施策についてお答えください

①. 近畿2府4県内の道路について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 第二名神高速道路、京奈和自動車道、阪神高速道路湾岸線（六甲アイランド～垂水間）等の高速道路ネットワークの整備
 ↳ 整備を優先する道路・区間
 主な理由
2. 高速道路のインターチェンジ（IC）へアクセスする一般道路の整備
 ↳ アクセス道路整備を必要とするIC
 主な理由
3. 港湾や貨物駅へアクセスする一般道路の整備
 ↳ アクセス道路整備を必要とする港湾・貨物駅
 主な理由
4. 道路のボトルネック（重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所）の解消
 ↳ 渋滞解消を必要とするボトルネック地点 ボトルネックになっている理由
 ➡
 ➡
5. 規制緩和の促進（大型車や海上コンテナ輸送車両に対する通行規制の緩和など）
 ↳ 必要とする規制緩和の内容
6. 大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ
7. その他・具体的にご記入ください
8. 特になし

②. 物流施設用地について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 公共による新たな用地整備と妥当なコストでの提供
 ↳ 用地整備を必要とする地区
2. 整備済みの工業団地等への移転促進のための優遇・助成方策の導入
 ↳ 優遇・助成方策を必要とする地区
3. 貨物車用の公共駐車場の整備・充実
 ↳ 整備を必要とする地区
4. 貨物車用の休憩施設（トラックステーション等）の整備
 ↳ 整備を必要とする地区
5. その他・具体的にご記入ください
6. 特になし

③. 物流に関連した社会的な問題（渋滞、環境問題等）について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導

2. 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備

➡ 整備を必要とする地区

3. 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷さばき施設等の整備

➡ 整備を必要とする地区

4. 鉄道や船舶の利用のしやすさ向上のための貨物駅や港湾の整備

➡ 整備を必要とする貨物駅・港湾

5. 貨物車から鉄道や船舶への輸送手段転換（モーダルシフト）の促進

（シフト貨物量や長距離フェリー利用トラック台数当たりにより一定の助成金を交付、など）

6. NO_x・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実

7. 共同配送など物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入

8. その他・具体的に記入（ ）

9. 特になし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。

秘

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 物流に関する意向アンケート

国土交通省近畿地方整備局 滋賀県
京都府 大阪府 兵庫県 奈良県
和歌山県 京都市 大阪市 神戸市
西日本高速道路（株）関西支社
阪神高速道路（株） 都市再生機構

記入についてのお願い

- このアンケート調査は、将来の物の輸送等に関する総合的な交通計画を立案するための基礎資料とさせていただくものです。御協力をよろしくお願いします。
 - 各質問項目は、本アンケートが届いた貴事業所に関する内容に限定してお答えください。他の事業所（貴事業所の他の支店、他の営業所等）の内容は含めないでください。
 - 同封の返送用封筒にて 12月2日(金)までにポストにご投函ください。
- ・ ご記入しにくい質問などございましたら、貴事業所の関連部署や委託先等にご確認いただき、ご記入ください。
 - ・ 回答は、 の部分（色のついたところ）にご記入ください。記入は黒の鉛筆またはボールペンをお願いします。
 - ・ なお、ご記入いただいた内容をそのまま公表したり、本調査の目的以外に使用することはありません。

<問い合わせ先>

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 調査実施本部

〒0000-0000 0000000000000000

フリーダイヤル 0000-0000-0000

（午前9：00～午後6：00、土曜・日曜・祝祭日を除く）

会社及び事業所名				
事業所所在地				
アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の立地場所の評価についてお答えください

①. 貴事業所が現在の場所へ立地された理由として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。また、その中でもっとも重要な番号ひとつに◎印をおつけください。

1. 必要・十分な広さだったから
2. 地代・賃料が妥当だったから
3. 行政等からの助成や優遇策が利用できたから
4. 顧客や得意先の事業所に近いから
5. 下請けや仕入先に近いから
6. 高速道路のインターチェンジに近いから
7. 幹線道路に近いから
8. 港湾、貨物駅、空港に近いから
9. 従業員やパートタイマーを確保しやすいから
10. 従業員やパートタイマーの通勤に便利だから
11. その他・具体的に記入 ()
12. わからない

②. 立地後に生じた問題点として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 業務拡大に伴い、用地、施設が手狭になった
2. 設備が老朽化し、効率が低下している
3. 土地・施設の利用コスト（地代、賃料）の負担が大きい
4. 周辺に住宅が増え、貨物車の出入りや住宅街の通り抜け等について住民から苦情が出ている
5. 周辺に他事業所の立地が増加し貨物車が増えたため、周辺道路の混雑が激しくなった
6. 周辺の道路が未整備のため、高速道路や幹線道路等へのアクセスが不便
7. 幹線道路までの区間で歩道が未整備のため、歩行者の通行に危険が生じている
8. その他・具体的に記入 ()
9. 特になし

③. 全体的に見て、現在の立地場所には満足しておられますか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | |

問2. 公共トラックターミナル、鉄道貨物駅、港湾、空港の利用についてお答えください

貨物の搬出入における拠点（公共トラックターミナル・鉄道貨物駅・港湾・空港）の利用の有無についてお答えください。利用している拠点があれば、その拠点を表1から番号を選んでご記入ください。また、利用上の問題点を表2から番号でお選びの上、問題の発生箇所をご記入ください。

1. 下表の利用拠点分類表にある拠点は利用していない  問3へお進みください。

2. 利用している 

利用している拠点 (表1の番号)	問題点 (表2の番号)	左記問題点の発生箇所(道路名や区間等)
例 2	4	中央環状線一津屋及び奈良付近
7	8	
//	4	大阪臨海線阪堺大橋及び三宝付近

(注) 利用拠点や利用上の問題点において、その他とお答えの場合は、問題箇所記入欄に具体的にご記入ください。

<表1 利用拠点分類表>

公共トラックターミナル	鉄道貨物駅	港 湾	空 港
1. 東大阪トラックターミナル（東大阪市） 2. 北大阪トラックターミナル（茨木市） 3. 大阪南港トラックターミナル（大阪市） 4. 阪神流通センタートラックターミナル（西宮市） 5. 神戸トラックターミナル（神戸市） 6. その他の公共トラックターミナル （ ）	7. 大阪貨物ターミナル駅 8. 梅田駅 9. 百済駅 10. 安治川口駅 11. 神戸貨物ターミナル駅 12. 姫路駅 13. 梅小路駅 14. その他の貨物駅 （ ）	15. 大阪港 16. 堺泉北港 17. 阪南港 18. 神戸港 19. 尼崎西宮芦屋港 20. 東播磨港 21. 姫路港 22. 和歌山下津港 23. 舞鶴港 24. その他の港湾 （ ）	25. 関西国際空港 26. 大阪国際空港 27. その他の空港 （ ）

<表2 拠点利用上の問題点>

1. 拠点へのアクセス道路が少ない 2. 拠点へのアクセス道路の幅員が狭い 3. 拠点へのアクセス道路に通行規制（高さ制限、重量制限等）がある 4. 拠点周辺道路が混雑している 5. 拠点周辺道路における貨物車の路上駐車が多い 6. 拠点内及び周辺に駐車場が少ない（収容台数が少ない） 7. その他・具体的に記入（ ） 8. 特に問題点はない
--

問3. 貨物車の高速道路の利用についてお答えください

①. 貴事業所における高速道路の利用・非利用については、どなたが判断されていますか。

1. 物流担当部署
2. ドライバー
3. 輸送委託先
4. その他・具体的に記入 ()
5. わからない

②. 貴事業所における高速道路の利用実態について、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 高速道路を利用可能な区間は、おおむね利用している
 2. どちらかと言えば高速道路を利用することが多い
 3. どちらかと言えば高速道路を利用しないことが多い
 4. 高速道路を利用可能な区間でも、ほとんど利用しない
 5. 高速道路を利用できる区間がない
- } P4の④へお進みください。
- } 引き続き、③にお進みください。
- P6の問4へお進みください。

③. (②で3. または4. を選択された方がお答えください)

高速道路を利用しない理由として、あてはまる番号に全て○印をおつけいただき、その中で最もあてはまる番号ひとつに◎をつけてください。

1. 利用しようとする高速道路区間が渋滞しているから
→利用したい区間 IC～ IC
2. 一般道路が空いており、高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
→時間短縮のメリットがないと感じる区間 IC～ IC
3. 高速道路の利用料金が安いから
→料金が安いと感じる区間 IC～ IC
4. 貴事業所で利用料金を負担する必要があるから
5. 90 km/h リミッター装着のため高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
6. その他・具体的に記入 ()

→ P4の⑤へお進みください。

④. 貴事業所では、一日に平均で何台ぐらいの貨物車が高速道路を利用されますか。利用のない場合は「0 (台)」とご記入ください。

注) 大型車とは最大積載重量5トン以上の貨物車を示します。

1. 旧日本道路公団(10月1日より民営化)の高速道路 (例: 東名高速道路、名神高速道路、中国自動車道、東名阪自動車道 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)
2. 阪神高速道路
台/日 (うち、大型車 台/日)
3. 近畿圏内の他の有料道路 (例: 第二阪奈有料道路、西神戸有料道路 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)

⑤. 貴事業所の貨物車運行におけるETCの利用状況についてお答えください。

⑤-1. 貴事業所では、ETCを導入されていますか。

1. 全ての貨物車に導入している
2. 一部の貨物車に導入している (約 割の車両)
3. 導入していない

⑤-2. 以下に示すETC割引が実施されていることを知っていますか。

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1) 深夜割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2) 通勤割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3) 早朝夜間割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4) 大口多頻度割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 5) 阪神高速道路ETC社会実験 | 1. 知っている | 2. 知らない |

【参考: 割引の概要 (同封のETC割引に関する冊子をご覧ください)】

- ・ 深夜割引 0:00~4:00 の利用を3割引
- ・ 通勤割引 6:00~9:00、17:00~20:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 早朝夜間割引 22:00~6:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 大口多頻度割引 利用実績に応じて1~2割引
- ・ ETC社会実験 阪神高速道路でのETC利用により、平日は時間帯割引 (オフピーク割引)、休日は土曜・休日割引を実施

⑤-3. 上記で知らなかったETC割引について、今後の利用を検討されますか。

1. 検討する
利用を検討される番号にいくつでも○印をおつけください。
1. 深夜割引 2. 通勤割引 3. 早朝夜間割引 4. 大口多頻度割引
5. 阪神高速道路ETC社会実験
2. 検討しない
3. どちらともいえない
4. 全て知っていた

⑥. 以下は、E T C割引を実際に御利用されている場合のみお答えください。利用されていない場合は⑦にお進みください。

⑥-1. 貴事業所では、E T C割引の実施後、貨物車による輸送に変更が生じましたか。あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 変更が生じていない ☐ ⑦にお進みください。

2. 変更が生じた ☐

あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 従来は一般道路利用のみであったが、高速道路を使うようになった

2. 従来も高速道路を利用していたが、利用区間を延長あるいは変更するようになった

3. 利用時間帯を割引時間帯へ変更した

4. その他・具体的に記入 ()

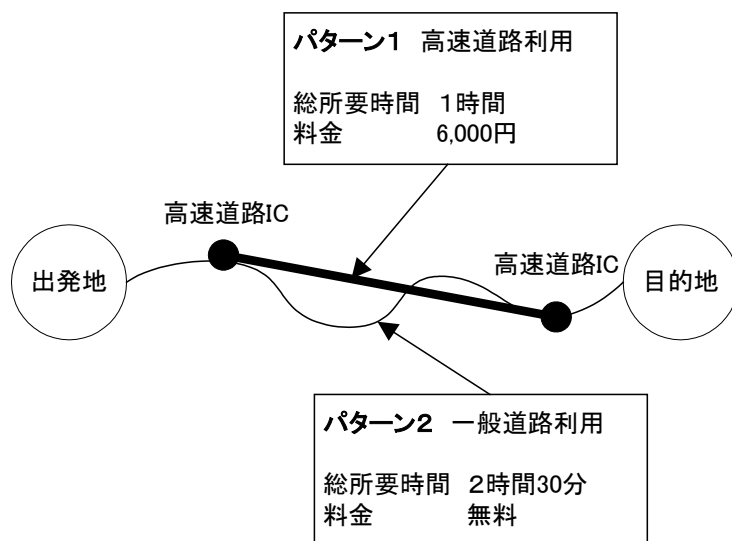
⑥-2 にお進みください。

⑥-2. E T C割引を利用した結果、輸送にかかる所要時間や出発時間、費用はどのように変わりましたか。貴社でE T C割引を最も多く利用する代表的な輸送ルートについてお答えください。注) 所要時間はE T C割引の区間のみについてではなく、出発地から目的地までの全行程についてお答えください。

1) 所要時間	E T C割引を利用前	時間	分
	利用後	時間	分
2) 出発時間	E T C割引を利用前	午前・午後	時 分
	利用後	午前・午後	時 分
3) 高速道路利用料金	E T C割引を利用前	円	
	利用後	円	

⑦. 高速道路の料金が割引された場合の利用意向をお答えください。

目的地までの貨物車輸送において、以下の2つの輸送パターンを想定して、質問にお答えください。



⑦-1. 高速道路の所要時間が1時間（料金が6,000円）、一般道路の所要時間が2時間30分の場合

1. 高速道路を利用する

⑦-1 P 6の問4にお進みください。

2. 高速道路を利用しない

⑦-2 にお進みください。

⑦-2. 高速道路の利用料金が6,000円から4,500円に値下げされた場合

1. 高速道路を利用する

2. 高速道路を利用しない

問4. 貴事業所における今後の移転等の意向についてお答えください

①. 貴事業所の物流効率化向上のために必要となる物流施設面の対応として、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の事業所に加えて、新しい施設を新設・賃借する
2. 現在の事業所を廃止して、新設の施設へ移転・統合する
3. 現在の事業所を廃止して、既存の大型施設等へ統合する
4. 現在の事業所から場所や数を変えずに、その機能を高度化する
5. 物流施設面では特に対策はとらない

➡ 対策をとらない理由としてあてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の施設の数と機能で十分満足しているから
2. 施設不足が生じた場合は、アウトソーシング（外部への委託）で対応するから
3. その他・具体的に記入（ ）

②. 以下の設問は、貴事業所が「物流施設を新設・移転する場合」を想定してお答えください

(1) 新しい施設に必要とする機能について、表1の施設機能分類表からあてはまる番号にいくつでも○印をおつけの上、新設する施設数をご記入ください。

注1) 新しい施設の確保について、表2の確保方法分類表から1～9の番号でご記入ください。

注2) 新しい施設に求める条件について、次頁の表3の条件分類表から1～9の番号を3つまでご記入のうえ、条件 へ番号に対応する条件をご記入ください。

新設・移転する施設に求める機能 (表1の番号)	新設・移転する施設数	確保方法 (表2の番号)	新設・移転する施設に求める条件	
			条件番号 (表3の番号)	条件
1・2・3・4・5・6・7・8	1カ所	1	5 1 7	→ 条件 5,000 → 条件 10 → 条件 50,000
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件

＜表1 施設機能分類表＞

1. 製造機能	2. 販売機能	3. 営業・事務機能	4. 保管機能
5. 積み替え機能	6. 荷さばき機能	7. 流通加工機能	
8. その他・具体的に記入（ ）			

＜表2 確保方法分類表＞

1. 公共の用地を取得し、施設を建設する	2. 民間の用地を取得し、施設を建設する
3. 公共の用地を賃借し、施設を建設する	4. 民間の用地を賃借し、施設を建設する
5. 既存の公共施設を買収する	6. 既存の民間施設を買収する
7. 既存の公共施設を賃借する	8. 既存の民間施設を賃借する
9. その他・具体的に記入（ ）	

＜表 3 条件分類表＞

1. 高速道路へのアクセスが便利なこと	条件：高速道路 IC まで自動車で（ ）分以内の場所
2. 港湾へのアクセスが便利なこと	条件：コンテナ港まで自動車で（ ）分以内の場所
3. 空港へのアクセスが便利なこと	条件：空港まで自動車で（ ）分以内の場所
4. 市場、消費地、取引先等へのアクセスが便利なこと	条件：（具体的に： ）まで自動車で（ ）分以内の場所
5. 十分な敷地の広さが確保できること	条件：敷地面積が（ ）m ² 以上必要
6. 施設・用地の分譲価格が妥当であること	条件：用地の 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
7. 施設・用地の賃借費が妥当であること	条件：延べ床 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
8. パート・アルバイト等の人員を確保しやすいこと	
9. その他・具体的に記入（ ）	

(2) 新しい施設の望ましい立地場所を近畿 2 府 4 県内の市区町村単位で 2 つまでご記入ください。

1		府 県		市 郡		区 町村
2		府 県		市 郡		区 町村

問 5. 貴事業所における複合物流施設の利用意向についてお答えください

近畿 2 府 4 県内の臨海部や高速道路沿線に、配送・荷さばき・保管などの機能を備えた複合物流施設（ロジスティックセンター）が整備された場合の、利用意向をお答えください。

1.

ぜひ利用したい

→

2.

利用を検討する

→

3.

利用する考えはない

↓

＜利用しない理由＞

- 現在の施設で十分であり、新たな施設は必要でないから
- 近畿 2 府 4 県内に自社にとって望ましい場所がないから
- 自社以外が整備する施設では、自社の物流特性を満たせないから
- その他・具体的に記入
〔 〕

＜必要とする施設規模＞

- 建物延床面積 〔 〕 m²
- 貨物車駐車容量 〔 〕 台分

＜望ましい立地場所＞

- 高速道路沿線・IC 周辺
- 臨海部
- その他・具体的に（ 〔 〕 ）

- 大阪港南港地区
- 堺泉北港地区
- 阪神間（尼崎西宮芦屋港）地区
- 神戸港六甲アイランド地区
- 神戸港ポートアイランド地区
- その他・具体的に記入
〔 〕

- 名神高速道路 - 中国自動車道 - 山陽自動車道 - 第二名神高速道路 - 京奈和自動車道 - その他・具体的に記入 〔 〕	
---	--

注）IC 名等がわからない場合には、区間名・市町村名をご記入ください

問6. 貴事業所における物流効率化のための取り組みについてお答えください

貴事業所における輸配送面での物流効率化のための取り組みについて、下記にあげた対策の現況と今後（およそ5年先）の実施予定と実施内容をご記入ください。

注）運輸業（道路貨物運送業や倉庫業）の方は、1）、2）、4）項目へのご記入は不要です。

対策		現況	1. 全 部 実 施 す る	2. 実 施 し な い	3. わ か ら な い	4. 実 施 す る	実施する場合の目標値
輸 配 送 方 式 の 取 り 組 み	1) 工場から配送拠点等への直送比率を増やす	直送比率 %	1	2	3	4	直送比率 %へ増やす
	2) 多頻度少量配送を減らし、定時の中大口配送を増やす	多頻度少量配送比率 %	1	2	3	4	多頻度少量配送比率 %へ減らす
	3) 共同配送を導入する、共同配送利用量を増やす	共同配送利用率 %	1	2	3	4	共同配送利用率 %へ増やす
	4) 自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切りかえを進める	自家用貨物車利用率 %	1	2	3	4	自家用貨物車利用率 %へ減らす
	5) 高速道路の利用率を増やす（減らす）	高速道路利用貨物量割合 %	1	2	3	4	高速道路利用貨物量割合 %へ変える
	6) 貨物車利用から鉄道利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	鉄道利用貨物量割合 %	1	2	3	4	鉄道利用貨物量割合 %へ増やす
	7) 貨物車利用から船舶利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	船舶利用貨物量割合 %	1	2	3	4	船舶利用貨物量割合 %へ増やす
そ の 他 の 取 り 組 み	8) 低公害車の利用を増やす	低公害車台数割合 %	1	2	3	4	低公害車台数割合 %へ増やす
	9) ETCの装着率を高める	ETC装着車台数割合 %	1	2	3	4	ETC装着車台数割合 %へ増やす
	10) DPF（ディーゼル微粒子除去装置）の装着率を高める	DPF装着車台数割合 %	1	2	3	4	DPF装着車台数割合 %へ増やす
	11) 上記以外で実施を計画しておられる対策がありましたらその内容を具体的にご記入ください						

問 7. 貴事業所における物流業務の効率化のために必要となる行政施策についてお答えください

①. 近畿 2 府 4 県内の道路について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 第二名神高速道路、京奈和自動車道、阪神高速道路湾岸線（六甲アイランド～垂水間）等の高速道路ネットワークの整備

↳ 整備を優先する道路・区間
 主な理由
2. 高速道路のインターチェンジ（IC）へアクセスする一般道路の整備

↳ アクセス道路整備を必要とする IC
 主な理由
3. 港湾や貨物駅へアクセスする一般道路の整備

↳ アクセス道路整備を必要とする港湾・貨物駅
 主な理由
4. 道路のボトルネック（重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所）の解消

↳ 渋滞解消を必要とするボトルネック地点

 →
→

 ボトルネックになっている理由
5. 規制緩和の促進（大型車や海上コンテナ輸送車両に対する通行規制の緩和など）

↳ 必要とする規制緩和の内容
6. 大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ
7. その他・具体的にご記入ください
8. 特になし

②. 物流施設用地について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 公共による新たな用地整備と妥当なコストでの提供

↳ 用地整備を必要とする地区
2. 整備済みの工業団地等への移転促進のための優遇・助成方策の導入

↳ 優遇・助成方策を必要とする地区
3. 貨物車用の公共駐車場の整備・充実

↳ 整備を必要とする地区
4. 貨物車用の休憩施設（トラックステーション等）の整備

↳ 整備を必要とする地区
5. その他・具体的にご記入ください
6. 特になし

③. 物流に関連した社会的な問題（渋滞、環境問題等）について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導

2. 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備

➡ 整備を必要とする地区

3. 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷さばき施設等の整備

➡ 整備を必要とする地区

4. 鉄道や船舶の利用のしやすさ向上のための貨物駅や港湾の整備

➡ 整備を必要とする貨物駅・港湾

5. 貨物車から鉄道や船舶への輸送手段転換（モーダルシフト）の促進

（シフト貨物量や長距離フェリー利用トラック台数当たりにより一定の助成金を交付、など）

6. NO_x・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実

7. 共同配送など物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入

8. その他・具体的に記入（

9. 特になし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。

会社及び事業所名				
事業所所在地				
アンケート 記入者	所属部署		電話番号	
	お名前		E-Mail	

問 1. 貴事業所の立地場所の評価についてお答えください

①. 貴事業所が現在の場所へ立地された理由として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。また、その中でもっとも重要な番号ひとつに◎印をおつけください。

1. 必要・十分な広さだったから
2. 地代・賃料が妥当だったから
3. 行政等からの助成や優遇策が利用できたから
4. 顧客や得意先の事業所に近いから
5. 下請けや仕入先に近いから
6. 高速道路のインターチェンジに近いから
7. 幹線道路に近いから
8. 港湾、貨物駅、空港に近いから
9. 従業員やパートタイマーを確保しやすいから
10. 従業員やパートタイマーの通勤に便利だから
11. その他・具体的に記入 ()
12. わからない

②. 立地後に生じた問題点として、あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 業務拡大に伴い、用地、施設が手狭になった
2. 設備が老朽化し、効率が低下している
3. 土地・施設の利用コスト（地代、賃料）の負担が大きい
4. 周辺に住宅が増え、貨物車の出入りや住宅街の通り抜け等について住民から苦情が出ている
5. 周辺に他事業所の立地が増加し貨物車が増えたため、周辺道路の混雑が激しくなった
6. 周辺の道路が未整備のため、高速道路や幹線道路等へのアクセスが不便
7. 幹線道路までの区間で歩道が未整備のため、歩行者の通行に危険が生じている
8. その他・具体的に記入 ()
9. 特になし

③. 全体的に見て、現在の立地場所には満足しておられますか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. 非常に不満である | |

問2. 公共トラックターミナル、鉄道貨物駅、港湾、空港の利用についてお答えください

貨物の搬出入における拠点（公共トラックターミナル・鉄道貨物駅・港湾・空港）の利用の有無についてお答えください。利用している拠点があれば、その拠点を表1から番号を選んでご記入ください。また、利用上の問題点を表2から番号でお選びの上、問題の発生箇所をご記入ください。

1. 下表の利用拠点分類表にある拠点は利用していない  問3へお進みください。
2. 利用している 

利用している拠点 (表1の番号)	問題点 (表2の番号)	左記問題点の発生箇所（道路名や区間等）
例 2	4	中央環状線一津屋及び奈良付近
7	8	
//	4	大阪臨海線阪堺大橋及び三宝付近

(注) 利用拠点や利用上の問題点において、その他とお答えの場合は、問題箇所記入欄に具体的にご記入ください。

<表1 利用拠点分類表>

公共トラックターミナル	鉄道貨物駅	港 湾	空 港
1. 東大阪トラックターミナル（東大阪市） 2. 北大阪トラックターミナル（茨木市） 3. 大阪南港トラックターミナル（大阪市） 4. 阪神流通センタートラックターミナル（西宮市） 5. 神戸トラックターミナル（神戸市） 6. その他の公共トラックターミナル （ ）	7. 大阪貨物ターミナル駅 8. 梅田駅 9. 百済駅 10. 安治川口駅 11. 神戸貨物ターミナル駅 12. 姫路駅 13. 梅小路駅 14. その他の貨物駅 （ ）	15. 大阪港 16. 堺泉北港 17. 阪南港 18. 神戸港 19. 尼崎西宮芦屋港 20. 東播磨港 21. 姫路港 22. 和歌山下津港 23. 舞鶴港 24. その他の港湾 （ ）	25. 関西国際空港 26. 大阪国際空港 27. その他の空港 （ ）

<表2 拠点利用上の問題点>

1. 拠点へのアクセス道路が少ない 2. 拠点へのアクセス道路の幅員が狭い 3. 拠点へのアクセス道路に通行規制（高さ制限、重量制限等）がある 4. 拠点周辺道路が混雑している 5. 拠点周辺道路における貨物車の路上駐車が多い 6. 拠点内及び周辺に駐車場が少ない（収容台数が少ない） 7. その他・具体的に記入（ ） 8. 特に問題点はない
--

問3. 貨物車の高速道路の利用についてお答えください

①. 貴事業所における高速道路の利用・非利用については、どなたが判断されていますか。

1. 物流担当部署
2. ドライバー
3. 輸送委託先
4. その他・具体的に記入 ()
5. わからない

②. 貴事業所における高速道路の利用実態について、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 高速道路を利用可能な区間は、おおむね利用している
 2. どちらかと言えば高速道路を利用することが多い
 3. どちらかと言えば高速道路を利用しないことが多い
 4. 高速道路を利用可能な区間でも、ほとんど利用しない
 5. 高速道路を利用できる区間がない
- } P4の④へお進みください。
- } 引き続き、③にお進みください。
- P6の問4へお進みください。

③. (②で3. または4. を選択された方がお答えください)

高速道路を利用しない理由として、あてはまる番号に全て○印をおつけいただき、その中で最もあてはまる番号ひとつに◎をつけてください。

1. 利用しようとする高速道路区間が渋滞しているから
→利用したい区間 IC～ IC
2. 一般道路が空いており、高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
→時間短縮のメリットがないと感じる区間 IC～ IC
3. 高速道路の利用料金が安いから
→料金が安いと感じる区間 IC～ IC
4. 貴事業所で利用料金を負担する必要があるから
5. 90 km/h リミッター装着のため高速道路を利用しても時間短縮のメリットがないから
6. その他・具体的に記入 ()

→ P4の⑤へお進みください。

④. 貴事業所では、一日に平均で何台ぐらいの貨物車が高速道路を利用されますか。利用のない場合は「0 (台)」とご記入ください。

注) 大型車とは最大積載重量5トン以上の貨物車を示します。

1. 旧日本道路公団(10月1日より民営化)の高速道路 (例: 東名高速道路、名神高速道路、中国自動車道、東名阪自動車道 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)
2. 阪神高速道路
台/日 (うち、大型車 台/日)
3. 近畿圏内の他の有料道路 (例: 第二阪奈有料道路、西神戸有料道路 等)
台/日 (うち、大型車 台/日)

⑤. 貴事業所の貨物車運行におけるETCの利用状況についてお答えください。

⑤-1. 貴事業所では、ETCを導入されていますか。

1. 全ての貨物車に導入している
2. 一部の貨物車に導入している (約 割の車両)
3. 導入していない

⑤-2. 以下に示すETC割引が実施されていることを知っていますか。

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1) 深夜割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2) 通勤割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3) 早朝夜間割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4) 大口多頻度割引 | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 5) 阪神高速道路ETC社会実験 | 1. 知っている | 2. 知らない |

【参考: 割引の概要 (同封のETC割引に関する冊子をご覧ください)】

- ・ 深夜割引 0:00~4:00 の利用を3割引
- ・ 通勤割引 6:00~9:00、17:00~20:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 早朝夜間割引 22:00~6:00 の利用 (100km 以内) を5割引
- ・ 大口多頻度割引 利用実績に応じて1~2割引
- ・ ETC社会実験 阪神高速道路でのETC利用により、平日は時間帯割引 (オフピーク割引)、休日は土曜・休日割引を実施

⑤-3. 上記で知らなかったETC割引について、今後の利用を検討されますか。

1. 検討する
利用を検討される番号にいくつでも○印をおつけください。
1. 深夜割引 2. 通勤割引 3. 早朝夜間割引 4. 大口多頻度割引
5. 阪神高速道路ETC社会実験
2. 検討しない
3. どちらともいえない
4. 全て知っていた

⑥. 以下は、E T C割引を実際に御利用されている場合のみお答えください。利用されていない場合は⑦にお進みください。

⑥-1. 貴事業所では、E T C割引の実施後、貨物車による輸送に変更が生じましたか。あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 変更が生じていない ☐ ⑦にお進みください。

2. 変更が生じた ☐

あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 従来は一般道路利用のみであったが、高速道路を使うようになった

2. 従来も高速道路を利用していたが、利用区間を延長あるいは変更するようになった

3. 利用時間帯を割引時間帯へ変更した

4. その他・具体的に記入 ()

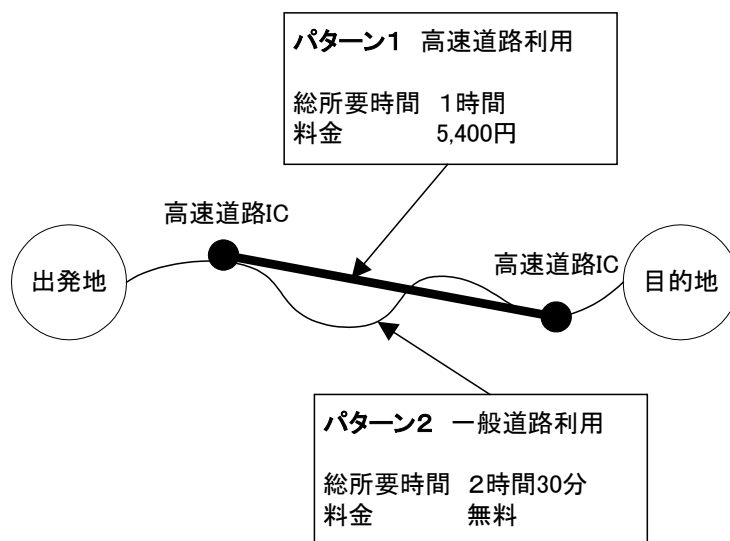
⑥-2 にお進みください。

⑥-2. E T C割引を利用した結果、輸送にかかる所要時間や出発時間、費用はどのように変わりましたか。貴社でE T C割引を最も多く利用する代表的な輸送ルートについてお答えください。注) 所要時間はE T C割引の区間のみについてではなく、出発地から目的地までの全行程についてお答えください。

1) 所要時間	E T C割引を利用前	時間	分
	利用後	時間	分
2) 出発時間	E T C割引を利用前	午前・午後	時 分
	利用後	午前・午後	時 分
3) 高速道路利用料金	E T C割引を利用前	円	
	利用後	円	

⑦. 高速道路の料金が割引された場合の利用意向をお答えください。

目的地までの貨物車輸送において、以下の2つの輸送パターンを想定して、質問にお答えください。



⑦-1. 高速道路の所要時間が1時間（料金が5,400円）、一般道路の所要時間が2時間30分の場合

1. 高速道路を利用する

⑦-1 P 6の問4にお進みください。

2. 高速道路を利用しない

⑦-2 にお進みください。

⑦-2. 高速道路の利用料金が5,400円から3,000円に値下げされた場合

1. 高速道路を利用する

2. 高速道路を利用しない

問4. 貴事業所における今後の移転等の意向についてお答えください

①. 貴事業所の物流効率化向上のために必要となる物流施設面の対応として、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の事業所に加えて、新しい施設を新設・賃借する
2. 現在の事業所を廃止して、新設の施設へ移転・統合する
3. 現在の事業所を廃止して、既存の大型施設等へ統合する
4. 現在の事業所から場所や数を変えずに、その機能を高度化する
5. 物流施設面では特に対策はとらない

➡ 対策をとらない理由としてあてはまる番号に○印をおつけください。

1. 現在の施設の数と機能で十分満足しているから
2. 施設不足が生じた場合は、アウトソーシング（外部への委託）で対応するから
3. その他・具体的に記入（ ）

②. 以下の設問は、貴事業所が「物流施設を新設・移転する場合」を想定してお答えください

(1) 新しい施設に必要とする機能について、表1の施設機能分類表からあてはまる番号にいくつでも○印をおつけの上、新設する施設数をご記入ください。

注1) 新しい施設の確保について、表2の確保方法分類表から1～9の番号でご記入ください。

注2) 新しい施設に求める条件について、次頁の表3の条件分類表から1～9の番号を3つまでご記入のうえ、条件 へ番号に対応する条件をご記入ください。

新設・移転する施設に求める機能 (表1の番号)	新設・移転する施設数	確保方法 (表2の番号)	新設・移転する施設に求める条件	
			条件番号 (表3の番号)	条件
1・2・3・4・5・6・7・8	1カ所	1	5 1 7	→ 条件 5,000 → 条件 10 → 条件 50,000
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件
1・2・3・4・5・6・7・8	カ所			→ 条件 → 条件 → 条件

＜表1 施設機能分類表＞

1. 製造機能	2. 販売機能	3. 営業・事務機能	4. 保管機能
5. 積み替え機能	6. 荷さばき機能	7. 流通加工機能	
8. その他・具体的に記入（ ）			

＜表2 確保方法分類表＞

1. 公共の用地を取得し、施設を建設する	2. 民間の用地を取得し、施設を建設する
3. 公共の用地を賃借し、施設を建設する	4. 民間の用地を賃借し、施設を建設する
5. 既存の公共施設を買収する	6. 既存の民間施設を買収する
7. 既存の公共施設を賃借する	8. 既存の民間施設を賃借する
9. その他・具体的に記入（ ）	

＜表 3 条件分類表＞

1. 高速道路へのアクセスが便利なこと	条件：高速道路 IC まで自動車で（ ）分以内の場所
2. 港湾へのアクセスが便利なこと	条件：コンテナ港まで自動車で（ ）分以内の場所
3. 空港へのアクセスが便利なこと	条件：空港まで自動車で（ ）分以内の場所
4. 市場、消費地、取引先等へのアクセスが便利なこと	条件：（具体的に： ）まで自動車で（ ）分以内の場所
5. 十分な敷地の広さが確保できること	条件：敷地面積が（ ）m ² 以上必要
6. 施設・用地の分譲価格が妥当であること	条件：用地の 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
7. 施設・用地の賃借費が妥当であること	条件：延べ床 1 m ² 当たりの価格が（ ）円以下
8. パート・アルバイト等の人員を確保しやすいこと	
9. その他・具体的に記入（ ）	

(2) 新しい施設の望ましい立地場所を近畿 2 府 4 県内の市区町村単位で 2 つまでご記入ください。

1		府 県		市 郡		区 町村
2		府 県		市 郡		区 町村

問 5. 貴事業所における複合物流施設の利用意向についてお答えください

近畿 2 府 4 県内の臨海部や高速道路沿線に、配送・荷さばき・保管などの機能を備えた複合物流施設（ロジスティックセンター）が整備された場合の、利用意向をお答えください。

1. ぜひ利用したい

2. 利用を検討する

3. 利用する考えはない

＜必要とする施設規模＞

- ・建物延床面積 m²
- ・貨物車駐車容量 台分

＜望ましい立地場所＞

1. 高速道路沿線・IC 周辺

2. 臨海部

3. その他・具体的に（ ）

＜利用しない理由＞

1. 現在の施設で十分であり、新たな施設は必要でないから

2. 近畿 2 府 4 県内に自社にとって望ましい場所がないから

3. 自社以外が整備する施設では、自社の物流特性を満たせないから

4. その他・具体的に記入

（ ）

1. 大阪港南港地区

2. 堺泉北港地区

3. 阪神間（尼崎西宮芦屋港）地区

4. 神戸港六甲アイランド地区

5. 神戸港ポートアイランド地区

6. その他・具体的に記入

（ ）

1. 名神高速道路 IC 名

2. 中国自動車道 IC 名

3. 山陽自動車道 IC 名

4. 第二名神高速道路 仮 IC 名

5. 京奈和自動車道 IC 名

6. その他・具体的に記入

（ ）

注）IC 名等がわからない場合には、区間名・市町村名をご記入ください

問6. 貴事業所における物流効率化のための取り組みについてお答えください

貴事業所における輸配送面での物流効率化のための取り組みについて、下記にあげた対策の現況と今後（およそ5年先）の実施予定と実施内容をご記入ください。

注）運輸業（道路貨物運送業や倉庫業）の方は、1）、2）、4）項目へのご記入は不要です。

対策		現況	1. 全 部 実 施 す る	2. 実 施 し な い	3. わ か ら な い	4. 実 施 す る	実施する場合の目標値
輸 配 送 方 式 の 取 り 組 み	1) 工場から配送拠点等への直送比率を増やす	直送比率 %	1	2	3	4	直送比率 %へ増やす
	2) 多頻度少量配送を減らし、定時の中大口配送を増やす	多頻度少量配送比率 %	1	2	3	4	多頻度少量配送比率 %へ減らす
	3) 共同配送を導入する、共同配送利用量を増やす	共同配送利用率 %	1	2	3	4	共同配送利用率 %へ増やす
	4) 自家用貨物車利用から営業用貨物車利用への切りかえを進める	自家用貨物車利用率 %	1	2	3	4	自家用貨物車利用率 %へ減らす
	5) 高速道路の利用率を増やす（減らす）	高速道路利用貨物量割合 %	1	2	3	4	高速道路利用貨物量割合 %へ変える
	6) 貨物車利用から鉄道利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	鉄道利用貨物量割合 %	1	2	3	4	鉄道利用貨物量割合 %へ増やす
	7) 貨物車利用から船舶利用への切りかえを進める（モーダルシフト）	船舶利用貨物量割合 %	1	2	3	4	船舶利用貨物量割合 %へ増やす
そ の 他 の 取 り 組 み	8) 低公害車の利用を増やす	低公害車台数割合 %	1	2	3	4	低公害車台数割合 %へ増やす
	9) ETCの装着率を高める	ETC装着車台数割合 %	1	2	3	4	ETC装着車台数割合 %へ増やす
	10) DPF（ディーゼル微粒子除去装置）の装着率を高める	DPF装着車台数割合 %	1	2	3	4	DPF装着車台数割合 %へ増やす
	11) 上記以外で実施を計画しておられる対策がありましたらその内容を具体的にご記入ください						

問7. 貴事業所における物流業務の効率化のために必要となる行政施策についてお答えください

①. 近畿2府4県内の道路について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 第二名神高速道路、京奈和自動車道、阪神高速道路湾岸線（六甲アイランド～垂水間）等の高速道路ネットワークの整備

↳ 整備を優先する道路・区間
 主な理由
2. 高速道路のインターチェンジ（IC）へアクセスする一般道路の整備

↳ アクセス道路整備を必要とするIC
 主な理由
3. 港湾や貨物駅へアクセスする一般道路の整備

↳ アクセス道路整備を必要とする港湾・貨物駅
 主な理由
4. 道路のボトルネック（重量や高さ制限、大型車通行規制、踏切などが要因となって渋滞が発生している箇所）の解消

↳ 渋滞解消を必要とするボトルネック地点

 →
→

 ボトルネックになっている理由
5. 規制緩和の促進（大型車や海上コンテナ輸送車両に対する通行規制の緩和など）

↳ 必要とする規制緩和の内容
6. 大型貨物車の高速道路利用料金の引き下げ
7. その他・具体的にご記入ください
8. 特になし

②. 物流施設用地について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけいただき、整備を必要とする箇所等を具体的にご記入ください。

1. 公共による新たな用地整備と妥当なコストでの提供

↳ 用地整備を必要とする地区
2. 整備済みの工業団地等への移転促進のための優遇・助成方策の導入

↳ 優遇・助成方策を必要とする地区
3. 貨物車用の公共駐車場の整備・充実

↳ 整備を必要とする地区
4. 貨物車用の休憩施設（トラックステーション等）の整備

↳ 整備を必要とする地区
5. その他・具体的にご記入ください
6. 特になし

③. 物流に関連した社会的な問題（渋滞、環境問題等）について、どのような施策が必要とお考えですか。あてはまる番号にいくつでも○印をおつけください。

1. 環境ロードプライシング等の料金割引による貨物車の迂回ルートへの誘導

2. 都市部を迂回するためのバイパスや環状道路等の整備

→ 整備を必要とする地区

3. 共同配送などの物流効率化促進のための公共荷さばき施設等の整備

→ 整備を必要とする地区

4. 鉄道や船舶の利用のしやすさ向上のための貨物駅や港湾の整備

→ 整備を必要とする貨物駅・港湾

5. 貨物車から鉄道や船舶への輸送手段転換（モーダルシフト）の促進

（シフト貨物量や長距離フェリー利用トラック台数当たりにより一定の助成金を交付、など）

6. NO_x・PM法適合車や低公害車の購入に対する助成金や融資制度、税負担の軽減の充実

7. 共同配送など物流効率向上策実施に対する助成金や税制面での優遇措置の導入

8. その他・具体的に記入（

9. 特になし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。